

令和5年度

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価  
報告書

台東区教育委員会

## 目 次

---

1 目的及び根拠	3
2 点検及び評価の対象	4
3 点検及び評価の方法	8
4 学識経験を有する者の知見の活用	10
5 点検及び評価の結果	10
<b>[学びのキャンパス台東アクションプラン]</b>	<b>16</b>
施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する	16
9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進	16
(1)特別支援教育の推進	16
(2)外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	24
(3)健康課題に対する取組の充実	27
(4)個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	29
10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援	32
(1)家庭への支援	32
(2)子供の諸課題に対する組織的な対応	34
(3)学びのセーフティネットの充実	37
11 教員・保育士の資質・能力の向上	40
(1)教員・保育士の資質・能力の向上	40
(2)教員・保育士の支援体制の充実	47
(3)働き方改革の推進	49
12 時代の変化に対応した環境整備の推進	52
(1)教育・保育環境の充実	52
(2)安全安心な施設・設備の充実	56
(3)時代の変化に対応したICT教育環境の充実	59
施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する	60
13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進	60
(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	60
(2)創意工夫ある魅力ある教育活動の推進	64
(3)学校園と家庭との連携	65
14 学校園間の円滑な接続や連携の推進	71
(1)幼稚園・保育園・こども園の連携の推進	71

(2)0歳から15歳までの一貫した教育の充実	73
(3)社会教育施設との連携	75
15 地域社会全体の教育力の向上	77
(1)学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進	77
(2)共同社会の拠点としての学校園の活用	79
16 自律的な学校園経営の推進	81
(1)カリキュラム・マネジメントの確立	81
(2)教育行政における学校園経営の支援	84
<b>[台東区学校教育情報化推進計画]</b>	<b>86</b>
①学校における安全・安心なICT環境の整備	86
②教科等指導における情報化の推進	86
③家庭学習等における情報化の推進	87
④校務情報化の推進	87
⑤学校教育情報化に関する研究体制の確立	88
⑥学校教育情報化に関する研修体制の確立	88
⑦学校教育情報化に関する支援体制の確立	89
6 学識経験者による意見	90
7 参考資料	99
・教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧	
・台東区教育大綱	
・教育目標	

## 1 目的及び根拠

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から全ての教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

台東区教育委員会では、教育行政をより効果的、効率的に推進するため、平成20年度から主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を毎年実施しており、今般令和5年度の点検及び評価の実施結果を報告書にまとめました。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の対象

台東区教育委員会では、平成30年度から4年間をかけて、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「生涯学習推進プラン」及び「スポーツ振興基本計画」の3つの計画の内、教育委員会以外の事業を除いた全ての施策及び事業について点検及び評価を行いました。令和3年度で全ての計画の点検及び評価を終了しましたが、新型コロナウイルス感染症による影響等で前回点検した時と大きく社会情勢が異なるため、令和4年度以降については、改めて3つの計画の施策及び事業について再度点検及び評価を行います。

今年度については、「学びのキャンパス台東アクションプラン」及びアクションプランの下位計画として位置付けて令和4年3月に策定した「台東区学校教育情報化推進計画」を対象に施策目標及び施策方向について点検及び評価を行いました。施策方向については、施策を構成する取組の成果や課題等を踏まえて総合的に点検及び評価を行っています。

点検及び評価を行った134事業は下記の表のとおりです(下記の表は、学びのキャンパス台東アクションプラン及び台東区学校教育情報化推進計画の施策体系図から教育委員会以外の事業を除いたもの。なお、「NO.」はそれぞれ、学びのキャンパス台東アクションプランの施策目標－施策方向－施策－取組番号を、台東区学校教育情報化推進計画については、基本方針を表す。再掲事業については、事業名に「(再掲)」と記載している。)

### [学びのキャンパス台東アクションプラン]

通し番号	NO. (施策目標-施策方向-施策-取組番号)	事業名等	掲載ページ
1	Ⅲ-9-(1)-①	特別支援学級運営	16
2	Ⅲ-9-(1)-②	特別支援教室	16
3	Ⅲ-9-(1)-③	就学・就園相談の充実	17
4	Ⅲ-9-(1)-④	巡回相談	17
5	Ⅲ-9-(1)-⑤	特別支援教育コーディネーター	18
6	Ⅲ-9-(1)-⑥	個別指導計画に基づく教育の推進	18
7	Ⅲ-9-(1)-⑦	副籍事業の推進	19
8	Ⅲ-9-(1)-⑧	特別支援教育支援員の配置	19
9	Ⅲ-9-(1)-⑨	就学前施設における特別支援教育の推進	20
10	Ⅲ-9-(1)-⑩	視覚障害者図書サービス	20
11	Ⅲ-9-(1)-⑪	こころの相談室	21
12	Ⅲ-9-(1)-⑬	学校教育相談講座	21
13	Ⅲ-9-(1)-⑭	教育相談連携訪問	22
14	Ⅲ-9-(1)-⑮	未就学児のきこえとことばの相談	22
15	Ⅲ-9-(1)-⑰	障害のある子供の読書活動の推進	23
16	Ⅲ-9-(2)-①	指導課学校園訪問	24
17	Ⅲ-9-(2)-②	日本語指導講師派遣	24
18	Ⅲ-9-(2)-③	保護者面談等通訳	25

通し番号	NO. (施策目標-施策方向-施策-取組番号)	事業名等	掲載ページ
19	Ⅲ-9-(2)-④	児童・生徒への外国語図書サービス	25
20	Ⅲ-9-(2)	教育活動アシスタント(再掲)	26
21	Ⅲ-9-(3)-①	健康診断の実施	27
22	Ⅲ-9-(3)-②	子供の生活習慣病予防対策	27
23	Ⅲ-9-(3)-③	児童・生徒の健康手帳	28
24	Ⅲ-9-(4)	人権教育研修会(再掲)	29
25	Ⅲ-9-(4)-③	個人の性的指向や性自認に対する校内体制の確立	29
26	Ⅲ-9-(4)-④	教育相談	30
27	Ⅲ-9-(4)	男女共同参画の推進(再掲)	30
28	Ⅲ-9-(4)	スクールカウンセラーの派遣(再掲)	31
29	Ⅲ-10-(1)-①	一時保育	32
30	Ⅲ-10-(1)-②	病児・病後児保育	32
31	Ⅲ-10-(1)-⑤	こどもクラブ運営	33
32	Ⅲ-10-(2)	教育相談(再掲)	34
33	Ⅲ-10-(2)-②	生活指導相談室(あしたば学級)	34
34	Ⅲ-10-(2)-③	ふれあいパートナー派遣	35
35	Ⅲ-10-(2)	スクールカウンセラーの派遣(再掲)	35
36	Ⅲ-10-(2)-⑨	スクールソーシャルワーカーの配置	36
37	Ⅲ-10-(3)-①	就学援助制度	37
38	Ⅲ-10-(3)-②	実費徴収に係る補足給付	37
39	Ⅲ-10-(3)-⑤	私立幼稚園保護者補助	38
40	Ⅲ-10-(3)	学習支援講座「ステップ・アップ」(再掲)	38
41	Ⅲ-10-(3)-⑦	子育てのための施設等利用給付	39
42	Ⅲ-11-(1)-①	問題に対応できる教員育成体制	40
43	Ⅲ-11-(1)-②	教育課題研究委員会	40
44	Ⅲ-11-(1)-③	研究協力校	41
45	Ⅲ-11-(1)-④	教員の指導・支援の充実	41
46	Ⅲ-11-(1)-⑤	スーパーティーチャーの育成	42
47	Ⅲ-11-(1)-⑥	教員教育研究制度	42
48	Ⅲ-11-(1)-⑦	特別支援教育コーディネーター研修会	43
49	Ⅲ-11-(1)-⑧	学校図書館担当教諭及び司書教諭の研修の充実	43
50	Ⅲ-11-(1)-⑨	ちいさな芽実践推進訪問	44
51	Ⅲ-11-(1)	指導課学校園訪問(再掲)	44
52	Ⅲ-11-(1)-⑩	幼児教育研修	45
53	Ⅲ-11-(1)	学校教育相談講座(再掲)	45
54	Ⅲ-11-(1)-⑬	普通救命講習の受講推進	46
55	Ⅲ-11-(1)-⑭	台東区教育委員会優秀教員奨励	46
56	Ⅲ-11-(2)-①	教職員の校務パソコン整備	47
57	Ⅲ-11-(2)-②	授業資料データサービス	47
58	Ⅲ-11-(2)-③	初任者アドバイザーの学校訪問	48
59	Ⅲ-11-(2)-④	幼稚園・こども園1・2・3年目教員アドバイザー派遣	48
60	Ⅲ-11-(3)	学力向上推進ティーチャー(再掲)	49
61	Ⅲ-11-(3)	教育活動アシスタント(再掲)	49
62	Ⅲ-11-(3)-③	学校園閉鎖期間の設定	50
63	Ⅲ-11-(3)-④	全庁による教員の働き方改革に対する協力体制の推進	50
64	Ⅲ-11-(3)-⑤	出退勤管理システムの導入	51
65	Ⅲ-11-(3)-⑥	スクール・サポート・スタッフの配置	51

通し番号	NO. (施策目標-施策方向-施策-取組番号)	事業名等	掲載ページ
66	Ⅲ-12-(1)-①	小中学校の図書環境整備	52
67	Ⅲ-12-(1)-②	幼稚園・保育園・こども園の図書整備	52
68	Ⅲ-12-(1)-③	保育施設の整備	53
69	Ⅲ-12-(1)-④	少年自然の家管理運営	53
70	Ⅲ-12-(1)-⑤	私立の教育・保育施設振興	54
71	Ⅲ-12-(1)-⑥	児童館管理運営	54
72	Ⅲ-12-(1)	花の心プロジェクト(再掲)	55
73	Ⅲ-12-(2)-①	防犯ブザーの貸与	56
74	Ⅲ-12-(2)-②	学校園の施設整備	56
75	Ⅲ-12-(2)-③	ランドセルカバーの支給	57
76	Ⅲ-12-(2)	学校安全ボランティア(再掲)	57
77	Ⅲ-12-(2)-⑤	こども110番	58
78	Ⅲ-12-(3)-①	学校の情報化・ICT教育環境の整備	59
79	Ⅲ-12-(3)-②	学校教育情報室	59
80	Ⅳ-13-(1)-①	学校運営連絡協議会	60
81	Ⅳ-13-(1)-②	学校公開の推進	60
82	Ⅳ-13-(1)-③	きょういく施策PR誌「台東まなびタイムズ大輪」の発行	61
83	Ⅳ-13-(1)	多様な主体の参画による学習の展開(再掲)	61
84	Ⅳ-13-(1)-⑤	学校図書館ボランティアの活用	62
85	Ⅳ-13-(1)	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導(再掲)	62
86	Ⅳ-13-(1)	上野学園大学の学生等による音楽、課外活動等への指導(再掲)	63
87	Ⅳ-13-(2)-①	台東区立中学校選択制度	64
88	Ⅳ-13-(2)-②	魅力ある教育活動の推進	64
89	Ⅳ-13-(3)-①	家庭での読み聞かせ支援	65
90	Ⅳ-13-(3)-②	学校園からの家庭教育への支援	65
91	Ⅳ-13-(3)	学習習慣定着に向けての啓発(再掲)	66
92	Ⅳ-13-(3)-⑤	家庭教育学級	66
93	Ⅳ-13-(3)-⑥	小学校へのかけはし懇談会	67
94	Ⅳ-13-(3)-⑦	「子供の読書活動」啓発講演会	67
95	Ⅳ-13-(3)-⑧	未就園児の会支援訪問	68
96	Ⅳ-13-(3)-⑨	合同子育て広場	68
97	Ⅳ-13-(3)-⑩	あかちゃんえほんタイム(ブックスタート事業)	69
98	Ⅳ-13-(3)	ノーテレビデーの呼びかけ(再掲)	69
99	Ⅳ-13-(3)-⑭	ふれあい給食の実施	70
100	Ⅳ-14-(1)-①	「連携の日」を通じた相互理解の促進	71
101	Ⅳ-14-(1)-②	幼児教育共通カリキュラムの推進	71
102	Ⅳ-14-(1)-③	園と園の交流活動の促進	72
103	Ⅳ-14-(2)	「連携の日」を通じた生活指導・学習習慣の定着(再掲)	73
104	Ⅳ-14-(2)-②	幼児の小学校での給食体験・授業体験	73
105	Ⅳ-14-(2)	生活指導・健全育成指導の充実(再掲)	74
106	Ⅳ-14-(3)-②	まちかど図書館の運営	75
107	Ⅳ-14-(3)-③	団体貸出	75
108	Ⅳ-14-(3)-④	清島温水プールの活用	76
109	Ⅳ-14-(3)	学びのキャンパスプランニング(再掲)	76
110	Ⅳ-15-(1)	学校図書館ボランティアの活用(再掲)	77
111	Ⅳ-15-(1)	「子供の読書活動」啓発講演会(再掲)	77

通し番号	NO. (施策目標-施策方向-施策-取組番号)	事業名等	掲載ページ
112	IV-15-(1)-③	図書ボランティアの養成と支援	78
113	IV-15-(1)	いきいき台東っ子応援団(再掲)	78
114	IV-15-(2)-①	放課後子供教室運営	79
115	IV-15-(2)-②	学校開放	79
116	IV-15-(2)-③	スポーツひろば	80
117	IV-15-(2)	こどもクラブ運営(再掲)	80
118	IV-16-(1)-①	校園長研修会	81
119	IV-16-(1)-②	幼稚園長・保育園長研修会	81
120	IV-16-(1)-③	出前教育委員会	82
121	IV-16-(1)	指導課学校園訪問(再掲)	82
122	IV-16-(1)	ちいさな芽実践推進訪問(再掲)	83
123	IV-16-(1)-⑥	学校園の検証改善サイクルの実施	83
124	IV-16-(2)-①	教科書採択	84
125	IV-16-(2)	学びのキャンパスプランニング(再掲)	84
126	IV-16-(2)	魅力ある教育活動の推進(再掲)	85
127	IV-16-(2)	授業改善推進プランの活用(再掲)	85

[台東区学校教育情報化推進計画]

通し番号	NO. (基本方針)	事業名等	掲載ページ
128	①(環境整備)	学校における安全・安心なICT環境の整備	86
129	②(活用推進)	教科等指導における情報化の推進	86
130	③(活用推進)	家庭学習等における情報化の推進	87
131	④(活用推進)	校務情報化の推進	87
132	⑤(体制整備)	学校教育情報化に関する研究体制の確立	88
133	⑥(体制整備)	学校教育情報化に関する研修体制の確立	88
134	⑦(体制整備)	学校教育情報化に関する支援体制の確立	89

### 3 点検及び評価の方法

台東区教育委員会では、子供たち一人ひとりの個性・能力を伸ばす取組となるよう、点検と評価を計画的に実施し、家庭や地域社会をはじめ、関係するすべての皆様の御理解と御協力を得ながら、各事業の教育的効果の向上に努めています。

本報告書では、施策及び取組を客観的な基準で採点し、評価するために、教育施策総括シート及び教育事業評価シートを活用しました。

#### (1)教育施策総括シート

教育施策総括シートには、各計画ごとに掲げた施策目標に対して、昨年度の取組結果をまとめました。また、それぞれの施策の評価を一覧としてまとめました。

#### 【施策等一覧の見方】

評価に際し、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や中止などを明記した取組の内数。

数値は事業数を表しており、「施策目標」及び「施策方向」の段階でそれぞれの評価の事業が何個あるかを表しています。

施 策 方 向		達成	半数以上 達成	未達成	※	計
施策No.	事 業 名					
【施策目標】Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する		68	0	11	4	79
9	子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進	26	0	2	1	28
Ⅲ-9-(1)	特別支援教育の推進	14	0	1	0	15
Ⅲ-9-(2)	外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	5	0	0	3	5

NO.は、「施策目標－施策方向－取組」を表しています。

横の計は、各取組に位置付けられている事業数とイコールになります。

(2) 教育事業評価シート

教育事業評価シートの見方は下記のとおりです。

NO.	①	
施 策		②
取 組 名		③
取 組 の 概 要		④
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	⑤
	取 組 実 績	⑥
	取 組 の 成 果	⑦
	取 組 の 課 題	⑧
担 当 課 評 価	⑨	⑩

⑪【●●課】

【教育事業評価シートの見方】

- ①②③…各計画ごとの位置づけ
- ④…各計画に記載されている取組の概要
- ⑤…事業の令和4年度の目標及び取組内容
- ⑥…事業の令和4年度の実績
- ⑦…事業の令和4年度の成果
- ⑧…⑥と⑦を受けた取組の課題
- ⑨…評価基準に基づいて担当課ごとに行った評価
- ⑩…⑨のように評価した理由
- ⑪…事業の所管課名

《評価基準》

「達成」・・・目標値と比較して同数以上又は目標項目をすべて実施

「半数以上達成」・・・目標項目が複数ある場合で半数以上が達成

「未達成」・・・目標値と比較して同数未満又は複数の目標項目のうち半数未満が達成

#### 4 学識経験を有する者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。

##### ■ 学識経験者

氏名	所属等
尾木 和英	東京女子体育大学名誉教授
前田 烈	大智学園高等学校顧問
有村 久春	東京聖栄大学教授

#### 5 点検及び評価の結果

今回行った点検及び評価の結果については、次ページ以降のとおりです。

## 教育施策総括シート

【学びのキャンパス台東アクションプラン】

【施策目標】Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する

一人ひとりが豊かな生活を送り、また、公平公正で活力ある社会を実現する上で、障害の有無や日本語指導の必要性、いじめの解消、不登校への支援など、多様なニーズに対応した教育機会の提供が必要です。

経済の状況や社会の急激な変化などの影響を受けて、就学前教育の段階から義務教育段階において子供たちが多様な学習の機会を得られるようにしていくために、様々な状況にある家庭への支援を多面的・多角的に進めるための方策の充実を図っていきます。また、安全安心な教育環境の実現に向けた取組を継続的、計画的に進めていくとともに、子供や保護者の満足感、達成感を高めるための充実した教育環境の整備を推進し、多様なニーズを具現化する教育を展開していきます。

施策目標に対する昨年度の取組結果

### ○施策の方向9 「子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進」

「外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援」、「個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「特別支援教育の推進」、「健康課題に対する取組の充実」は、目標値に到達しなかった。特に、子供の生活習慣病予防対策の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

### ○施策の方向10 「様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援」

「家庭への支援」、「子供の諸課題に対する組織的な対応」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「学びのセーフティネットの充実」は、目標値に到達しなかった。特に、学習支援講座「ステップ・アップ」の事業が目標値に到達しなかった。

### ○施策の方向11 「教員・保育士の資質・能力の向上」

「教員・保育士の支援体制の充実」、「働き方改革の推進」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「教員・保育士の資質・能力の向上」は、目標値に到達しなかった。特に、教員教育研究制度、普通救命講習の受講推進の事業は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きかった。

### ○施策の方向12 「時代の変化に対応した環境整備の推進」

「時代の変化に対応したICT教育環境の充実」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「教育・保育環境の充実」、「安全安心な施設・設備の充実」は、目標値に到達しなかった。特に、少年自然の家管理運営の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。

#### 【施策目標】Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する

子供たちを人間として調和のとれた大人に育成していく上では、学校園だけでなく家庭・地域が果たす役割は大きく、互いに連携し、社会全体で子供たちの教育を推進することが必要です。学校園が地域のつながりの中心となり、地域の教育の拠点として、地域の施設や組織、人的なつながりや絆など様々な形での連携を広げることで、地域全体を活性化していくことが重要です。

学校園が地域の人的、物的資源を活用することで、地域との連携を深め、さらに、学校、家庭、地域がそれぞれの立場から子供の教育に責任をもち、子供とのかかわりの中で個人が主体的に社会に参画し、子供たちを支え、地域社会全体の教育力の向上を目指しながら、相互に支え合う持続可能な社会を創造する教育を展開していきます。

#### 施策目標に対する昨年度の実績結果

##### ○施策の方向13 「保護者・地域とともにある学校園づくりの推進」

「創意工夫ある魅力ある教育活動の推進」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「地域社会に開かれた学校園づくりの推進」、「学校園と家庭との連携」は、目標値に到達しなかった。特に、学校運営連絡協議会、家庭教育学級、未就園児の会支援訪問、合同子育て広場、あかちゃんえほんタイム（ブックスタート事業）、ふれあい給食の実施の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。

##### ○施策の方向14 「学校園間の円滑な持続や連携の推進」

「幼稚園・保育園・こども園の連携の推進」、「社会教育施設との連携」は、全ての事業で計画目標を達成した。

「0歳から15歳までの一貫した教育の充実」は、目標値に到達しなかった。特に、幼児の小学校での給食体験・授業体験の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。

##### ○施策の方向15 「地域社会全体の教育力の向上」

「学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進」、「共同社会の拠点としての学校園の活用」は、目標値に到達しなかった。特に、いきいき台東っ子応援団、スポーツひろばの事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。

##### ○施策の方向16 「自律的な学校園経営の推進」

「カリキュラム・マネジメントの確立」、「教育行政における学校園経営の支援」は、全ての事業で計画目標を達成した。今後も、自律的な学校園経営が推進されるよう、教育委員会として支援していく。

## 【台東区学校教育情報化推進計画】

### 【基本目標】

台東区学校教育ビジョンが掲げる基本理念の実現に向けて、台東区立学校におけるICT環境の整備及び活用の推進を通して、児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。

また、感染症対策に係る「学校の『新しい日常』の定着」を目指した学校教育を同法の基本理念に基づき早期実現するため、基本目標に連なる「基本方針」を「環境整備」、「活用推進」、「体制整備」の3つに分けて設定する。

### 基本目標に対する昨年度の基本方針結果

#### ○「環境整備」

環境整備の基本方針「学校における安全・安心なICT環境の整備」は、安全かつ堅牢なネットワーク環境による情報セキュリティ対策を推進したことにより、計画目標を達成した。

#### ○「活用推進」

活用推進における3つの基本方針は、いずれも計画目標を達成した。

「教科等指導における情報化の推進」では、教員が1日2回以上ICT機器を活用している割合が計画目標値を上回った。また、「家庭学習等における情報化の推進」では、端末の持ち帰りによりドリル学習をはじめとする家庭学習等の情報化を推進した。さらに、「校務情報化の推進」では、校務系および学習系ネットワーク環境の活用による教員の校務に係る負担軽減を推進した。

#### ○「体制整備」

体制整備における3つの基本方針は、いずれも計画目標を達成した。

「学校教育情報化に関する研究体制の確立」では、ICT活用効果の評価方法の構築により児童・生徒の情報活用能力の評価指数に係る研究を推進した。また、「学校教育情報化に関する研修体制の確立」では、ICT活用のリーダー育成講座等によりICTの効果的活用の促進に資する研修体制を充実させた。さらに、「学校教育情報化に関する支援体制の確立」では、ICT支援員の学校訪問回数拡充等により学校への支援体制を充実させた。

取組等一覧

【学びのキャンパス台東アクションプラン】

施策方向		達成	半数以上達成	未達成	※	計
施策No.	事業名					
【施策目標】Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する		68	0	11	4	79
9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進		26	0	2	1	28
3-9-(1)	特別支援教育の推進	14	0	1	0	15
3-9-(2)	外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	5	0	0	0	5
3-9-(3)	健康課題に対する取組の充実	2	0	1	1	3
3-9-(4)	個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	5	0	0	0	5
10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援		12	0	1	0	13
3-10-(1)	家庭への支援	3	0	0	0	3
3-10-(2)	子供の諸課題に対する組織的な対応	5	0	0	0	5
3-10-(3)	学びのセーフティネットの充実	4	0	1	0	5
11 教員・保育士の資質・能力の向上		19	0	5	2	24
3-11-(1)	教員・保育士の資質・能力の向上	9	0	5	2	14
3-11-(2)	教員・保育士の支援体制の充実	4	0	0	0	4
3-11-(3)	働き方改革の推進	6	0	0	0	6
12 時代の変化に対応した環境整備の推進		11	0	3	1	14
3-12-(1)	教育・保育環境の充実	6	0	1	1	7
3-12-(2)	安全安心な施設・設備の充実	3	0	2	0	5
3-12-(3)	時代の変化に対応したICT教育環境の充実	2	0	0	0	2
【施策目標】Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する		36	0	12	9	48
13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進		13	0	7	6	20
4-13-(1)	地域社会に開かれた学校園づくりの推進	5	0	2	1	7
4-13-(2)	創意工夫ある魅力ある教育活動の推進	2	0	0	0	2
4-13-(3)	学校園と家庭との連携	6	0	5	5	11
14 学校園間の円滑な接続や連携の推進		9	0	1	1	10
4-14-(1)	幼稚園・保育園・こども園の連携の推進	3	0	0	0	3
4-14-(2)	0歳から15歳までの一貫した教育の充実	2	0	1	1	3
4-14-(3)	社会教育施設との連携	4	0	0	0	4
15 地域社会全体の教育力の向上		4	0	4	2	8
4-15-(1)	学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進	2	0	2	1	4
4-15-(2)	共同社会の拠点としての学校園の活用	2	0	2	1	4

16	自律的な学校園経営の推進	10	0	0	0	10
4-16-(1)	カリキュラム・マネジメントの確立	6	0	0	0	6
4-16-(2)	教育行政における学校園経営の支援	4	0	0	0	4
合計		104	0	23	13	127

【台東区学校教育情報化推進計画】

分野毎の各基本方針		達成	半数以上達成	未達成	※	計
①(環境整備)	学校における安全・安心なICT環境の整備	1	0	0	0	1
②(活用推進)	教科等指導における情報化の推進	1	0	0	0	1
③(活用推進)	家庭学習等における情報化の推進	1	0	0	0	1
④(活用推進)	校務情報化の推進	1	0	0	0	1
⑤(体制整備)	学校教育情報化に関する研究体制の確立	1	0	0	0	1
⑥(体制整備)	学校教育情報化に関する研修体制の確立	1	0	0	0	1
⑦(体制整備)	学校教育情報化に関する支援体制の確立	1	0	0	0	1
合計		7	0	0	0	7

※一覧のうち「※」の欄については、評価に際し、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や中止などを明記した「半数以上達成」及び「未達成」の内数。

《評価基準》

「達成」・・・目標値と比較して同数以上又は目標項目をすべて実施

「半数以上達成」・・・目標項目が複数ある場合で半数以上が達成

「未達成」・・・目標値と比較して同数未満又は複数の目標項目のうち半数未満が達成

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.		Ⅲ-9-(1)-①
施 策		(1)特別支援教育の推進
取 組 名		①特別支援学級運営
取組の概要		集団指導を通し、障害の状態や支援の必要性に応じて、園児・児童・生徒により良い環境を整え、将来の自立と社会参加に向けての健全育成を行う。
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	小・中学校特別支援学級の円滑な運営を図り、障害のある児童・生徒の学習環境を向上させる。
	取 組 実 績	学級運営に必要な消耗品・備品等について予算令達を行い、適切な教育環境の整備を行った。
	取組の成果	各特別支援学級において必要な教材や教室環境が整備され、障害の特性や個々の状態に応じた指導が実施されている。
	取組の課題	就学先の決定において障害の状態や教育的ニーズ、保護者・本人の希望等を総合的に勘案する必要があることから、正確な学級編制見込が困難となっている。
担当課評価		達成 障害のある児童・生徒の学習に必要な教室環境が整っている。

【学務課】

NO.		Ⅲ-9-(1)-②
施 策		(1)特別支援教育の推進
取 組 名		②特別支援教室
取組の概要		東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画における、区立小中学校の通常学級に在籍する発達障害の児童・生徒に対する支援体制として平成29年度に全小学校に、令和2年度に全中学校に特別支援教室を設置し、在籍校で巡回指導教員による指導を受けられるシステムに移行した。特別な教育的支援を必要とするより多くの児童・生徒に対し、その特性に応じた特別な指導を実施する。
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全ての区立小学校・中学校において発達障害のある児童生徒に対しその特性に応じた指導をするため、一人一人に適切な指導目標や指導内容を設定し、指導を実施する。
	取 組 実 績	小学校 入室児童数 (R4.4) 270名 中学校 入室生徒数 (R4.4) 66名
	取組の成果	発達障害のある児童が、在籍校内において特別な指導を受けることによって学校生活への適応改善が図られている。
	取組の課題	特別支援教室での指導をより充実にするため、教員のスキルアップが求められている。
担当課評価		達成 特別支援教室にて、一人一人に適切な指導目標や指導内容を設定し、指導を実施することができたため。

【学務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(1)-③	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	③就学・就園相談の充実	
取組の概要	就学・就園相談を通して、障害のある又は心配のある幼児・児童・生徒が、個々にあった教育が受けられるよう指導・助言を行う。小学校入学にあたっては、幼児期から学齢期にスムーズな支援を引き継ぐための就学支援シートを学校における個別指導計画等の作成に活用し、児童の支援・指導にあたる。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	就学支援シートの活用
	取 組 実 績	就学支援シートの活用
	取 組 の 成 果	就学支援シートをホームページからダウンロードできるようになり、より多くの区民が就学支援シートを使用しやすくなった。
	取 組 の 課 題	就学支援シートの使用者を増やすため、シートの有効性についてさらに周知する必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	就学支援シートを活用しているため。

【学務課】

N0.	Ⅲ-9-(1)-④	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	④巡回相談	
取組の概要	区立幼稚園・石浜橋場こども園・小学校・中学校に、特別支援教育に関する高い専門性を有する巡回相談員を派遣し、教員への指導・助言を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	40件
	取 組 実 績	35件
	取 組 の 成 果	教員が学校等の現場で専門家のアドバイスを受けることで、特定の園児・児童・生徒への対応が効果的に行えるようになった。また、当該の学級運営が効果的に行えるようになった。
	取 組 の 課 題	本事業の目的及び効果を対象となる全施設に周知し、事業の利用件数を増やしていくことが課題である。
担当課評価	<b>未達成</b>	年間40回の実施件数を見込んでいたが、実績件数が35件であったため。

【学務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(1)-⑤	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑤特別支援教育コーディネーター	
取組の概要	関係機関・関係者間を調整し、協同して対応できるようにするための役割として、特別支援教育コーディネーターを全校園の教員の中から指名し、園児・児童・生徒への適切な支援ができるようにする。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全校園において設置
	取 組 実 績	全校園において設置
	取 組 の 成 果	特別支援教育コーディネーターを設置することで、様々な関係機関と連携したり、就学や通級における会議を設定したりすることができ、幼児・児童・生徒の適切な支援につながった。
	取 組 の 課 題	
担当課評価	達成	目標に位置付けられた全校園における設置ができたため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-9-(1)-⑥	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑥個別指導計画に基づく教育の推進	
取組の概要	障害のある、もしくはあると思われる区立学校園の園児・児童・生徒について、保護者と情報交換しながら個別指導計画を作成し、適切な指導・支援をする。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全幼稚園・こども園1園・全小中学校実施
	取 組 実 績	全幼稚園・こども園1園・全小中学校実施
	取 組 の 成 果	学校園と保護者の共通理解のもと、特別支援が必要な幼児・児童・生徒に対する適切な教育的支援を行うことができた。
	取 組 の 課 題	就学前から学校卒業までの学校園間における引継ぎを更に円滑に行えるようにする必要がある。
担当課評価	達成	全幼稚園・こども園1園・全小中学校で実施されているため。

【児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑦	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑦副籍事業の推進	
取組の概要	都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区立小中学校に副次的な籍（副籍）をもち、直接的な交流（学校行事や地域行事等への参加）や間接的な交流（学校・学校便りの交換等）を通じて地域とのつながりの維持・継続を図り、地域の中で障害のある児童・生徒と障害のない児童・生徒の相互理解を進め「豊かな心の育成」につなげる。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	95%
	取組実績	97.6%
	取組の成果	小学校では共同授業、行事参加、給食や清掃活動への参加等、積極的な直接交流が行われ相互理解がすすんでいる。
	取組の課題	中学校では副籍登録のみで交流活動に至らないケースが多く、副籍交流の意義や効果について一層の理解啓発を進める必要がある。
担当課評価	達成	副籍事業が実施されているため。

【学務課】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑧	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑧特別支援教育支援員の配置	
取組の概要	区立小中学校の通常学級に在籍する、教育上の配慮を必要とする子供を対象とした支援員の配置を行う。また特別支援学級（固定学級）における特別支援教育を充実するために、支援員を配置する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	支援を必要とする児童・生徒に配慮した支援員の配置を行う。
	取組実績	支援を必要とする児童・生徒に配慮した支援員の配置を実施。 年間延べ配置日数 12, 216日
	取組の成果	会計年度任用職員制度に基づき、支援員の公募・採用を行い、各学校へ適切に配置した。
	取組の課題	要支援児の増加及び要支援日数の増加により、学校から支援員の配置要請が増加している。引き続き人材確保に努める必要がある。
担当課評価	達成	支援員の配置を推進し、教育環境の充実を図ることができたため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑨	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑨就学前施設における特別支援教育の推進	
取組の概要	区立幼稚園・保育園などの就学前施設での受け入れにおいて、特別な教育的支援を必要とする幼児が安全安心な環境で教育・保育を受けられるよう、特別支援教育支援員を配置し、教育環境の充実を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	支援を必要とする園児に配慮した支援員の配置を行う。
	取 組 実 績	支援を必要とする園児に配慮した支援員の配置を実施。 年間延べ配置日数 15,058日
	取組の成果	会計年度任用職員制度に基づき、支援員の公募・採用を行い、各学校へ適切に配置した。
	取組の課題	要支援児の増加及び要支援日数の増加により、学校から支援員の配置要請が増加している。引き続き人材確保に努める必要がある。
担当課評価	達成	支援員の配置を推進し、教育環境の充実を図ることができたため。

【教育支援館】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑩	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑩視覚障害者図書サービス	
取組の概要	視覚障害などにより、図書館の利用が困難な方のために、情報不足を補い地域社会の一員として安心して豊かな生活を送れるよう、対面朗読、声の図書(DAISY図書・テープ等)の作成・貸出、大活字・点字図書の貸出、プレクストーク(DAISY図書の再生機)の貸出、点字器セットの貸出を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	音訳資料の蔵書を充実する。 障害者サービスの利用者数の増加に努める(55人)。
	取 組 実 績	音訳資料の作成・購入により蔵書数は増加している。 令和4年度末で障害者サービスの利用者数は57人となった。
	取組の成果	音訳資料の作成・購入を継続することで蔵書を充実し、利用者へ提供することができた。 サービスの周知・啓発に努めることで、利用者数の増加につながった。
	取組の課題	音訳資料の貸出数が伸び悩んでいることから、事業の継続及び積極的な周知・啓発に努める必要がある。
担当課評価	達成	音訳資料の蔵書を充実するとともに、サービスの周知・啓発に努めることで利用者数の増加につながったため。

【中央図書館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑪	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑪こころの相談室	
取組の概要	子供の発達や行動に関して、精神科の医師が来所・電話相談に応じます。また、区立学校園を訪問し、授業・保育の観察を通じて適切な対応方法などについて助言する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	こころの相談室を実施する。
	取 組 実 績	下記のとおりこころの相談室を実施。 相談実施 月4日 (来所相談 18件・学校園訪問 41回)
	取 組 の 成 果	子供の理解を深め、区立学校園における様々な課題に対する指導や支援に役立つよう、医師が事例への所見を行い具体的な対応について助言を行った。また、家庭との連携を図ることができるよう保護者への対応についても助言を行った。
	取 組 の 課 題	教育相談室内における業務時のさらなる活用、事業の周知を行う必要がある。
担当課評価	達成	予定どおり相談を実施するとともに、訪問を希望する学校園全てを訪問し助言を行ったため。

【教育支援館】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑬	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑬学校教育相談講座	
取組の概要	学校園における教育相談を充実するため、教員や保育士等を対象に基礎的な理論や実技等を学ぶ研修会を開催する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	学校教育相談講座を年6回実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり学校教育相談講座を実施。 実施回数 6回 (延受講者人数 200名)
	取 組 の 成 果	コロナ禍により、参加人数や講義形式について制限をしながらの開催であったが、教育相談に関する基礎的な理論や実技等を伝達することができた。
	取 組 の 課 題	継続受講している方がステップアップできる内容等を検討する必要がある。
担当課評価	達成	予定どおりの回数を開催することができたため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑭	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑭教育相談連携訪問	
取組の概要	教育相談員が区立小中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行う。私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教育相談員が各学校園を訪問し、情報交換や協議等を行う。
	取 組 実 績	下記のとおり訪問を実施。 訪問 29校園(延回数 29件)
	取組の成果	小学校、中学校の訪問では、スクールカウンセラーとの情報交換を中心に行い、教育相談室に來所する児童・生徒の学校担任等が話し合いに参加した。幼稚園、保育園、こども園の訪問では、要請に応じて園児の観察から園長等とその後の対応などについて話し合いを行った。
	取組の課題	連携訪問で話し合われた子供の問題について、今後も情報交換・協議を行っていくことが必要である。
担当課評価	達成	訪問を希望する学校園を訪問し、適切な連携を図ることができたため。

【教育支援館】

NO.	Ⅲ-9-(1)-⑮	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑮未就学児のきこえとことばの相談	
取組の概要	発音の誤り、言葉の繰り返しなどが気になる小学校入学前の幼児を対象として、言語聴覚士が相談を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	相談を月6日実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり相談を実施。 相談実施 月6日 申込者数 66人、来所相談回数 133回
	取組の成果	前年度に比べて継続相談者数は減少したが、新規申込者数は増加している。また、相談を通して必要な支援につながることができている。
	取組の課題	相談希望者が多く、速やかな対応が行えない場合があるため、今後相談枠の増設を検討する必要がある。
担当課評価	達成	予定どおり相談を実施することができたため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(1)-⑰	
施 策	(1)特別支援教育の推進	
取 組 名	⑰障害のある子供の読書活動の推進	
取組の概要	障害のある子供向けの資料を提供するとともに、特別支援学級ではおはなし会を実施し、読書活動の支援を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	資料の充実及び特別支援学級でのおはなし会の実施。
	取 組 実 績	毎年、対象の資料数は増えている。 4年度は、特別支援学級への出張おはなし会を2回行い、その際にDAISY資料等についてのチラシを配布した。
	取組の成果	子供たちが、おはなし会を楽しみながら、集中して聞いている様子が見られた。
	取組の課題	資料は増えているが、貸出数はあまり伸びていないので、さらなる周知が必要である。
担当課評価	達成	障害のある子供向けの資料の充実を図った。また、特別支援学級での出張おはなし会が予定通り実施できた。

【中央図書館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(2)-①	
施 策	(2)外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	
取 組 名	①指導課学校園訪問	
取組の概要	学校園経営を充実させることを目的に、2年に1回、指導課が学校園を訪問の上、指導する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	幼稚園 5園、こども園 1園、小学校10校 中学校3校 において実施。
	取 組 実 績	幼稚園 5園、こども園 1園、小学校10校 中学校3校 において実施。
	取組の成果	校園長だけではなく、個々の教員に対して直接指導・助言を行うこと で、教員の授業力向上につなげることができた。
	取組の課題	働き方改革の観点からも、より効率的な協議会等の運営について検討 する必要がある。
担当課評価	達成	目標に位置付けている回数の訪問を達成し、指導・助 言を実施したため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-9-(2)-②	
施 策	(2)外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	
取 組 名	②日本語指導講師派遣	
取組の概要	学校園における生活を送るうえで必要となる基礎的な日本語の習得 を目的として、外国から新たに編入し日本語の理解が十分でない幼 児・児童・生徒を対象に、専門の講師を派遣し指導を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	日本語指導講師の派遣を実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり日本語指導講師の派遣を実施。 27校園 2, 233時間 11言語
	取組の成果	増加傾向にある外国からの来日による編入等において、対象言語に関 しては全ての言語に対応することができた。
	取組の課題	新たな在留資格の創設による外国人労働者の増加等に伴い、講師の派 遣要請も増加が見込まれるため、今後も速やかな対応を図る必要があ る。
担当課評価	達成	学校園からの派遣要請の全てに対して、速やかな派遣を行 えたため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(2)-③	
施 策	(2)外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	
取 組 名	③保護者面談等通訳	
取組の概要	日本語の理解が不十分な子供や保護者に対し、区立学校園での保護者面談、教育相談室が行う相談業務、スクールソーシャルワーカーの家庭訪問、及び5歳児の保護者を対象に家庭の果たすべき役割などの講話を行う「かけはし懇談会」事業等に通訳者を派遣する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	保護者面談時等に必要に応じて通訳を派遣する。
	取 組 実 績	下記のとおり通訳を派遣。 実施園 8校園 対応言語 8言語 人数 18人 通訳時間 56時間
	取組の成果	通訳を介しての面談においては、保護者と学校園の相互理解を深めることができた。
	取組の課題	派遣は区立学校園における保護者面談が多く、他の業務において活用されていないため、事業の周知が必要である。
担当課評価	達成	面談に要する通訳を、希望する学校園に派遣できたため。

【教育支援館】

N0.	Ⅲ-9-(2)-④	
施 策	(2)外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	
取 組 名	④児童・生徒への外国語図書サービス	
取組の概要	外国語児童書コーナーを設置し、日本語を母語としない子供たちに情報提供をするとともに、外国語図書の特集展示を行い、国際理解の機会を設ける。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	外国語の児童書コーナーの設置及び外国語図書の特集展示。
	取 組 実 績	外国語の児童書コーナーの資料を適宜購入した。 例月特集のテーマに合わせ、外国語図書も含めた展示を行った。
	取組の成果	外国語の本を気軽に手に取れるよう「こどもとしょじつ」の入口付近にコーナーを設置し、利用の増加につなげた。
	取組の課題	現在、外国語の所蔵は絵本が中心であるため、リクエストや貸し出し状況及び本の流通状況に応じて、読み物など児童書の分野の所蔵検討も行う必要がある。
担当課評価	達成	外国語コーナーを維持しているため。

【中央図書館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.	Ⅲ-9-(2)	
施 策	(2)外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援	
取 組 名	教育活動アシスタント(再掲)	
取 組 の 概 要	教職員を志望する大学生などのボランティア指導者を区立小中学校に配置し、授業補助や個別指導などを行うことで、主体的に学ぶ機会を充実させ、学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な学力の向上や学習習慣の定着を図る。また、授業準備などの教育活動を補助し、教員の業務負担の軽減を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	児童生徒への個別対応を行うことにより、主体的に取り組む姿勢を育んでいる。
	取 組 の 課 題	事業や効果的な活用方法について、学校間での認識に差がある。
担当課評価	達成	全校に配置しているため。 効果的な活用については、今後も研究が必要である。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(3)-①		
施 策	(3)健康課題に対する取組の充実		
取 組 名	①健康診断の実施		
取組の概要	園児・児童・生徒並びに教職員の疾病の早期発見と予防及び適切な健康管理を図るため、定期健康診断を中心に各種健康診断を実施する。また、健康増進に絶えず努力する児童を育成するため、健康づくり努力児童などの表彰を行う。		
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施	
	取 組 実 績	実施	
	取 組 の 成 果	健康診断の実施により、園児・児童・生徒並びに教職員の疾病の早期発見と予防及び適切な健康管理に資することができた。	
	取 組 の 課 題		
担当課評価	達成	健診対象者へ健診を実施しているため。	

【学務課】

N0.	Ⅲ-9-(3)-②		
施 策	(3)健康課題に対する取組の充実		
取 組 名	②子供の生活習慣病予防対策		
取組の概要	区立小中学校に在籍する児童・生徒を対象に生活習慣病予防健診を実施し、生活習慣病の早期発見に努めるとともに、健診結果に基づいた生活習慣の改善を支援する。		
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	自己チェックシート該当項目が3つ以上ある児童・生徒の健診受診率 小学4年生 70% 中学1年生 50%	
	取 組 実 績	小学4年生 50.6% 中学1年生 42.9%	
	取 組 の 成 果	学校での対象児童・生徒に対する受診勧奨や保健所栄養士による健康相談など各所と連携を図ることにより、効率的に事業を実施することができた。また、生活習慣の重要性についてさらにわかりやすく認識できるよう、ホームページ上で新たに動画配信を行ったことで、児童生徒及び保護者が知識を養うことができた。	
	取 組 の 課 題	コロナ禍による医療機関の受診控え等の影響もあり、自己チェックシート該当項目が3つ以上ある児童・生徒の健診受診率が低下している。	
担当課評価	未達成	目標値に対して実績値がそれぞれ下回っているため。	

【学務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(3)-③	
施 策	(3)健康課題に対する取組の充実	
取 組 名	③児童・生徒の健康手帳	
取 組 の 概 要	区立小学校の新入学児童全員に健康手帳を支給し、学齢期の健康づくり及び健康教育に活用する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	新入学児童全員に配付。
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	令和4年度は、より親しみやすくするため表紙のデザインを変更した。 また、小児生活習慣病の啓発に関する記載を拡大するなど、健康教育の充実を図ることができた。
	取 組 の 課 題	保護者に使い方を理解してもらえるよう、配付後のアンケートなどを活用し発信する。
担当課評価	達成	新一年生に健康手帳が配付されているため。

【学務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(4)	
施 策	(4)個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	
取 組 名	人権教育研修会(再掲)	
取 組 の 概 要	人権尊重教育推進校校長会、人権尊重教育推進校研究担当者会、人権教育研修会、全国人権・同和教育研究大会、全国研究集会などの、区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の教員を対象とした研修会や先進地域視察を通して、教員の人権意識の向上を図る。あわせて、生命の尊さと自他の生命を尊重する指導の改善のために、校内研究を工夫する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	研修会 年7回
	取 組 実 績	研修会 年7回
	取 組 の 成 果	今日的な人権課題に応じた研修内容を設定している。
	取 組 の 課 題	研修等で取り扱った内容等について、各校の人権研教育担当者が校内で周知することで、教員の人権意識の向上を図っている。今後もさらに推進する必要がある。
担当課評価	達成	目標通り研修会を実施したため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-9-(4)-③	
施 策	(4)個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	
取 組 名	③個人の性的指向や性自認に対する校内体制の確立	
取 組 の 概 要	性的指向や性自認に関する本人やその保護者からの申し出に応じ、校内における相談及び支援に対する体制の充実を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	各校園において、個人のニーズに応じて対応することができた。
	取 組 の 課 題	個人に応じた配慮を全教職員で更に共通理解を図る必要がある。
担当課評価	達成	本人やその保護者からの申し出に応じ、相談及び支援を行うことができたため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

N0.	Ⅲ-9-(4)-④	
施 策	(4)個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	
取 組 名	④教育相談	
取組の概要	子供の教育上のさまざまな悩みに関して、本人や保護者を対象としたカウンセリングを臨床心理士が行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教育相談事業を実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり教育相談事業を実施。 来所相談 387件 (延実施回数 2, 211回)
	取 組 の 成 果	教育上のさまざまな相談に対応し、学校園や関係機関等との連携等を積極的に行い、相談主訴の解決に努めた。
	取 組 の 課 題	気軽に相談に来訪できる場として、事業の周知を充実するとともに、オンライン相談の実施を検討する必要がある。
担当課評価	達成	教育上のさまざまな相談に対し、柔軟に対応することができたため。

【教育支援館】

N0.	Ⅲ-9-(4)	
施 策	(4)個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	
取 組 名	男女共同参画の推進(再掲)	
取組の概要	性に関する基礎的・基本的な内容を、児童・生徒の発達段階に応じて正しく理解させ、相手を尊重し、男女ともに協力し合う社会の形成に寄与することにつながる指導を実施・推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	保健の授業等で正しく理解をさせるとともに、健康診断時には養護教諭からも指導を行う等、各校において計画的に指導に当たっている。
	取 組 の 課 題	発達の早熟化により、指導の内容と実態が一部かい離している状況がみられる。
担当課評価	達成	各校において計画的に実施しているため。今後も、児童・生徒の性に関する正しい知識を培っていく。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向9 子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進】

NO.	Ⅲ-9-(4)	
施 策	(4)個人の性的指向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮	
取 組 名	スクールカウンセラーの派遣(再掲)	
取 組 の 概 要	区立全小中学校に都費のスクールカウンセラーに加えて区費のスクールカウンセラーを配置し、児童生徒のカウンセリング並びに教職員や保護者への指導、助言及び教育相談を行い、各学校におけるカウンセリング機能を充実させ、いじめや不登校等の問題解決及び早期発見に努める。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	カウンセラー派遣 小学校 週3回 中学校 週2回
	取 組 実 績	カウンセラー派遣 小学校 週3回 中学校 週2回
	取 組 の 成 果	児童・生徒及び保護者の学校生活上の課題に心理の専門的知見から適切かつ迅速に対処するとともに、校内における情報共有が図られている。
	取 組 の 課 題	カウンセラー同士が情報共有や協議ができる場を設定することで、効果的な事例を発信し合うことが期待でき、さらにカウンセラーの効果が上がるものとする。
担当課評価	達成	全小中学校におけるカウンセラー配置が実施されているため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

NO.	Ⅲ-10-(1)-①	
施策	(1)家庭への支援	
取組名	①一時保育	
取組の概要	保護者の不規則な仕事や通学等の理由により一時的に保育を必要とする児童に対して必要な保育を行うことにより、保護者の子育て支援と児童福祉の増進を図る。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	一時保育サービスを実施
	取組実績	一時保育サービスを実施
	取組の成果	保護者の就労等を理由とする非定型理由の利用者は減少したが、通院や学校行事等を理由とする私的理由の利用者は増加しており、多様なニーズに対応した。
	取組の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた延利用人数は、令和3年度に引き続き、令和4年度も増加となった。また、社会状況の変化に伴い、保護者の多様なニーズへの対応が必要である。
担当課評価	達成	保護者の就労等を理由とする非定型理由のほか、私的 理由や緊急理由による利用者も多く、月極で保育園を 利用する方以外の多様なニーズに基づいたサービスを 提供できたため。

【児童保育課】

NO.	Ⅲ-10-(1)-②	
施策	(1)家庭への支援	
取組名	②病児・病後児保育	
取組の概要	児童の病気の回復期にあり、集団保育の困難な期間等において一時的にその児童を預かり、もって保護者の子育てと就労の両立を支援する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	施設型病後児保育 実施 派遣型病児・病後児保育 実施
	取組実績	施設型病後児保育 実施 派遣型病児・病後児保育 実施
	取組の成果	事業の実施により、保護者の子育てと就労を両立させるとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することができた。
	取組の課題	補助内容や周知方法等について、必要に応じて見直しを検討することが重要である。
担当課評価	達成	事業の実施により、病児・病後児を預けやすい体制を確保できたため。

【児童保育課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

N0.	Ⅲ-10-(1)-⑤	
施 策	(1)家庭への支援	
取 組 名	⑤こどもクラブ運営	
取組の概要	共働き家庭等の児童に対し、授業の終了後や長期休業中に適切な遊びや生活の場を提供することで、健全な育成を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	こどもクラブ運営 実施
	取 組 実 績	こどもクラブ施設数 公設民営23か所、民設民営1か所
	取 組 の 成 果	きめ細かな運営指導・助言、保護者アンケートなどを通して各クラブの状況にあったこどもクラブ運営を実施し、児童の基本的な生活習慣についての援助や自立に向けた手助け等を行うことで、対象児童の健全な育成を図ることができた。
	取 組 の 課 題	定員に余裕のあるこどもクラブもあるが、児童の通う小学校内または近隣のこどもクラブ以外は利用を希望しない傾向があるため、待機児童が発生している。こどもクラブの新規開設、需要のあるこどもクラブの定員増加を行ってきたが、待機児童解消に至っていない。
担当課評価	達成	各クラブの状況にあった運営を行い、児童に適切な遊び及び生活の場を提供している。また、早期の待機児童解消に向けた取り組みを推進しているため。

【児童保育課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

N0.	Ⅲ-10-(2)	
施 策	(2)子供の諸課題に対する組織的な対応	
取 組 名	教育相談(再掲)	
取組の概要	子供の教育上のさまざまな悩みに関して、本人や保護者を対象としたカウンセリングを臨床心理士が行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教育相談事業を実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり教育相談事業を実施。 来所相談 387件(延実施回数 2, 211回)
	取組の成果	教育上のさまざまな相談に対応し、学校園や関係機関等との連携等を積極的に行い、相談主訴の解決に努めた。
	取組の課題	気軽に相談に来訪できる場として、事業の周知を充実するとともに、オンライン相談の実施を検討する必要がある。
担当課評価	達成	教育上のさまざまな相談に対し、柔軟に対応することができたため。

【教育支援館】

N0.	Ⅲ-10-(2)-②	
施 策	(2)子供の諸課題に対する組織的な対応	
取 組 名	②生活指導相談室(あしたば学級)	
取組の概要	学校生活に適応できず、長期欠席傾向にある児童・生徒を対象に、教職経験者や臨床心理士等が学校復帰に向けた支援をするための指導を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	生活指導相談学級(あしたば学級)を運営する。
	取 組 実 績	下記のとおり生活指導相談学級(あしたば学級)を運営。 延入級児童・生徒数 25名
	取組の成果	通年在籍した中学3年生は、全員進学することができた。
	取組の課題	入級者は小学校高学年の児童及び中学生のみとなっており、今後、小学校低学年児童の入級希望者への対応が必要である。
担当課評価	達成	入級希望の児童・生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行ったため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

NO.		Ⅲ-10-(2)-③	
施 策		(2)子供の諸課題に対する組織的な対応	
取 組 名		③ふれあいパートナー派遣	
取組の概要		不登校等で家にひきこもりがちな小・中学生を対象に、精神的な自立と学校復帰を目的として、心理学を専攻する大学院生や大学生等が家庭を訪問して話し相手や相談に応じる。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	ふれあいパートナーの派遣事業を実施する。	
	取 組 実 績	ふれあいパートナーの派遣相談を実施。	
	取組の成果	ひきこもり傾向の対象児童・生徒を支援する事業として、継続することは必要である。	
	取組の課題	対象児童・生徒の性格等により、パートナー派遣に至らないことがある。今後は、派遣要請の多い男性のふれあいパートナーの確保が必要である。	
担当課評価		達成	ふれあいパートナーを確保し、事業を実施することができたため。

【教育支援館】

NO.		Ⅲ-10-(2)	
施 策		(2)子供の諸課題に対する組織的な対応	
取 組 名		スクールカウンセラーの派遣(再掲)	
取組の概要		区立全小中学校に都費のスクールカウンセラーに加えて区費のスクールカウンセラーを配置し、児童生徒のカウンセリング並びに教職員や保護者への指導、助言及び教育相談を行い、各学校におけるカウンセリング機能を充実させ、いじめや不登校等の問題解決及び早期発見に努めます。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	カウンセラー派遣 小学校 週3回 中学校 週2回	
	取 組 実 績	カウンセラー派遣 小学校 週3回 中学校 週2回	
	取組の成果	児童・生徒及び保護者の学校生活上の課題に心理の専門的知見から適切かつ迅速に対処するとともに、校内における情報共有が図られている。	
	取組の課題	カウンセラー同士が情報共有や協議ができる場を設定することで、効果的な事例を発信し合うことが期待でき、さらにカウンセラーの効果が上がるものとする。	
担当課評価		達成	全小中学校におけるカウンセラー配置が実施されているため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

N0.	Ⅲ-10-(2)-⑨	
施 策	(2)子供の諸課題に対する組織的な対応	
取 組 名	⑨スクールソーシャルワーカーの配置	
取組の概要	社会福祉に関する専門的知識や技能を有する人材が、いじめや不登校、家庭の貧困や虐待など、子供が置かれた環境面における諸問題の解決を図る。また、学校園、関係機関及び家庭間との連携強化を図り、諸問題を協力して解決していく体制を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	スクールソーシャルワーカーを配置し、子供が置かれた環境における諸問題の早期発見・早期解決を図る。
	取 組 実 績	下記のとおりスクールソーシャルワーカー事業を実施。 情報入手件数 434件 (うち、介入件数 126件)
	取 組 の 成 果	子供が置かれた環境における多様な問題に対し、学校園・関係機関及び家庭間と積極的な連携を行い、問題の解決に努めた。
	取 組 の 課 題	より迅速できめ細かな対応を図っていく必要がある。
担当課評価	達成	スクールソーシャルワーカー4名体制において、学校園、関係機関と連携し、きめ細かな対応を行うことができたため。

【指導課、教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

N0.	Ⅲ-10-(3)-①	
施 策	(3)学びのセーフティーネットの充実	
取 組 名	①就学援助制度	
取組の概要	経済的な理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対し、学用品費等の必要な費用を援助する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	援助基準に該当する保護者に対して支給を実施する。
	取 組 実 績	小学校 援助額：111,791,610円、援助人数：1,202人 中学校 援助額：70,450,819円、援助人数：645人
	取組の成果	経済的な理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対し、必要な費用を援助することができた。
	取組の課題	適宜保護者負担の実態を把握し、支給費目・金額を見直しながら事業を継続していく必要がある。
担当課評価	達成	必要な援助を行うことができたため。

【学務課】

N0.	Ⅲ-10-(3)-②	
施 策	(3)学びのセーフティーネットの充実	
取 組 名	②実費徴収に係る補足給付	
取組の概要	幼稚園や保育園等における低所得世帯の保護者に対して、実費負担となる給食費及び教材費・行事費等の一部を補助する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取組の成果	対象となる全保護者(給食費延2,928人(庶務課延2,928人)、教材費・行事費延84人(学務課延72人、児童保育課延12人))に対して、総額12,889,713円(庶務課12,803,863円、学務課62,050円、児童保育課23,800円)を支給した。
	取組の課題	事業周知を徹底し、引き続き、対象となる保護者へ漏れなく補助を行う。
担当課評価	達成	目標通り実施できたため。

【庶務課、学務課、児童保育課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

N0.	Ⅲ-10-(3)-⑤	
施 策	(3)学びのセーフティーネットの充実	
取 組 名	⑤私立幼稚園保護者補助	
取組の概要	私立幼稚園の保護者負担を軽減するため、区単独事業として補助金を支給する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	補助対象者延872人へ総額約194万円を支給した。
	取 組 の 課 題	事業周知を徹底し、引き続き、対象となる保護者へ漏れなく補助を行う。
担当課評価	達成	目標通り実施できたため。

【庶務課】

N0.	Ⅲ-10-(3)	
施 策	(3)学びのセーフティーネットの充実	
取 組 名	学習支援講座「ステップ・アップ」(再掲)	
取組の概要	家庭の経済的事業により十分な学習機会がないが、基礎学力の補充が必要で、学習意欲のある区立中学校の生徒を対象に外部人材を活用し、1年生、2年生については学力向上を目的とした講座を、3年生については進路対策を目的とした講座を実施する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	講座の実施
	取 組 実 績	講座を廃止
	取 組 の 成 果	
	取 組 の 課 題	
担当課評価	未達成	他の取組で目標に対応しており、事業を廃止したため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向10 様々な家庭の状況や子供の諸課題の支援】

N0.	Ⅲ-10-(3)-⑦	
施 策	(3)学びのセーフティーネットの充実	
取 組 名	⑦子育てのための施設等利用給付	
取組の概要	<p>幼児教育・保育の無償化の一環として、保育の必要性の認定を受けた児童が、幼稚園、こども園の預かり保育や認可外保育施設等を利用した際に要する費用を上限額の範囲内で支給する。</p> <p>また、子ども・子育て支援新制度未移行の幼稚園等については、上記に加え、在籍している児童が当該施設を利用した際に要する費用を上限額の範囲内で支給する。</p>	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取組の成果	<p>請求のあった全保護者（私立幼稚園等在籍者延8,638人、区立幼稚園在籍者延284人、こども園在籍者延422人、認可外保育施設等利用者延1,420人、認証保育所等利用者延2,935人）に対して、総額351,967,448円（庶務課215,365,212円、学務課3,485,490円、児童保育課133,116,746円）を支給した。</p>
	取組の課題	事業周知を徹底し、引き続き、保護者へ漏れなく給付を行う。
担当課評価	達成	目標通り実施できたため。

【庶務課、学務課、児童保育課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(1)-①	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	①問題に対応できる教員育成体制	
取組の概要	学校園内OJTを活用することにより、個々の教員が校種に応じた様々な問題に対応できるような教育の育成体制を充実させる。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	校園長研修や副校園長研修、主幹教諭研修等でOJTの活性化を取り上げたことで、校(園)務分掌に担当者が位置付けられる等、体制構築が進んでいる。
	取 組 の 課 題	区主催研修で定期的に情報交換の場を設定する等、形骸化しないよう工夫が必要である。
担当課評価	達成	校(園)務分掌に担当者が位置付けられる等、充実が図られているため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(1)-②	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	②教育課題研究委員会	
取組の概要	区立幼稚園・小学校・中学校の教職員で構成する各教科などの研究専門委員会において、教育課題の研究を行い、教育指導全般の強化や充実を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	年11回実施
	取 組 実 績	年11回実施
	取 組 の 成 果	各教科等部会の研究主題の基、講師等を招聘した研究授業や講演会を実施し、教職員の専門性向上に努めた。
	取 組 の 課 題	各教科等部会における成果を、より多くの教職員に周知するための工夫が必要である。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた回数を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(1)-③	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	③研究協力校	
取組の概要	区立幼稚園・小学校・中学校の指定校が教育課題の解決及び教育方法の改善等を図る研究を行うことで、教員の指導力向上を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	幼稚園 1園、小学校 1校 において研究発表会を実施。
	取 組 の 成 果	今日的な教育課題に対応した質の高い保育、教育実践事例を発表することで、教員の指導力向上につながった。
	取 組 の 課 題	研究協力学校(園)以外の学校においても研究の質的向上を図り、学校間格差が生じない工夫が必要である。
担当課評価	達成	研究協力学校(園)において、研究発表会を実施することができたため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(1)-④	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	④教員の指導・支援の充実	
取組の概要	校長・副校長の要請に基づいて指導主事が学校園を訪問し、課題がある教員等に対して指導・支援を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	延べ210校園以上
	取 組 実 績	延べ695校園
	取 組 の 成 果	課題がある教員等に対する指導・助言だけではなく、管理職に対して学校園経営の助言を行うことで、教員の指導力向上、組織力向上を図ることができた。
	取 組 の 課 題	初任者をはじめとする若手教員、常勤講師等に対する積極的な支援が必要である。
担当課評価	達成	指導主事が訪問した学校園数(延べ)が、695校園であったため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向 1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(1)-⑤	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	⑤スーパーティーチャーの育成	
取組の概要	台東区の学力向上施策を総合的に推進するために、指導力の高い教員・保育士を計画的に育成する。時代にあった教育課題を選び講座として開催することで、教員・保育士の指導力向上につなげる。受講後は、台東区の全体の教育力向上を目指し、職場でのOJT等を通して、台東区に勤務する教員・保育士へ波及を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	新学習指導要領の全面实施や区の取り組むべき教育課題に向けた講座を実施し、多くの教員の受講勧奨を行う。
	取 組 実 績	事業を廃止
	取 組 の 成 果	
	取 組 の 課 題	
担当課評価	未達成	事業内容の見直しにより、事業を廃止したため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(1)-⑥	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	⑥教員教育研究制度	
取組の概要	区が抱える教育課題について、国内の先進地域の教育制度に基づく様々な施策や事業を、区立幼稚園・小学校・中学校の教員が、視察及び実体験することを通して、区の制度・施策改正、事業改善に寄与する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	先進地域・校視察 実施 12名参加
	取 組 実 績	中止
	取 組 の 成 果	新型コロナウイルスにより、事業を中止したため成果なし。
	取 組 の 課 題	コロナ禍など、視察や実体験の機会が制限される状況においても、先進事例の施策や事業について学べるよう、オンライン等の活用を検討する。(令和5年度は視察再開予定)
担当課評価	未達成	新型コロナウイルスにより、事業を中止したため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(1)-⑦	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	⑦特別支援教育コーディネーター研修会	
取組の概要	区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の特別支援教育コーディネーターを対象に研修会を開催し、各校園の特別支援教育が組織的に推進されるよう支援する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	研修会 実施
	取 組 実 績	研修会 実施
	取 組 の 成 果	研修を開催することにより、特別支援教育コーディネーターが自分の役割を明確にし、各校園において関係機関・関係者間を調整し、協同して対応することができた。
	取 組 の 課 題	全教職員が同じ理念の下、組織的に行動できるよう更に推進する必要がある。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた回数を実施したため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(1)-⑧	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	⑧学校図書館担当教諭及び司書教諭の研修の充実	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒の読書活動を推進させるため、各校園の学校図書館担当教諭及び司書教諭を対象に、資質及び実践的能力の向上を図る研修を実施する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	研修会 実施
	取 組 実 績	研修会 未実施
	取 組 の 成 果	
	取 組 の 課 題	
担当課評価	未達成	事業廃止のため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向 1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

NO.	Ⅲ-11-(1)-⑨	
施策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取組名	⑨ちいさな芽実践推進訪問	
取組の概要	「台東区幼児教育カリキュラム ちいさな芽」に基づく保育・教育を推進するために、専門スタッフが学校・園を訪問して授業や保育観察を通じて指導・助言を行う。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	下記のとおり訪問を実施する。 保育園・ことぶきこども園・たいとうこども園 年1回 幼稚園・石浜橋場こども園・小学校 2年に1回
	取組実績	下記の施設で訪問を実施。 全保育園・全こども園・5幼稚園・10小学校
	取組の成果	定期的な訪問における授業・保育観察と指導・助言により、幼児共通カリキュラムの推進につなげた。
	取組の課題	幼児共通カリキュラムについて、幼稚園・保育園・こども園と小学校では取り組み状況に差があるので、今後は小学校に向けて幼児共通カリキュラムの活用を推進する必要がある。
担当課評価	達成	予定どおり施設を訪問し、適切に指導・助言を行うことができたため。

【教育支援館】

NO.	Ⅲ-11-(1)	
施策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取組名	指導課学校園訪問(再掲)	
取組の概要	学校園経営を充実させることを目的に、2年に1回、指導課が学校園を訪問の上、指導する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	幼稚園 5園、こども園 1園、小学校10校 中学校3校 において実施。
	取組実績	幼稚園 5園、こども園 1園、小学校10校 中学校3校 において実施。
	取組の成果	校園長だけではなく、個々の教員に対して直接指導・助言を行うことで、教員の授業力向上につなげることができた。
	取組の課題	働き方改革の観点からも、より効率的な協議会等の運営について検討する必要がある。
担当課評価	達成	目標に位置付けている回数の訪問を達成し、指導・助言を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(1)-①	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	①幼児教育研修	
取組の概要	幼児教育の今日的な課題や台東区が推進する施策を踏まえ、保育・教育の実践力を高める研修会を実施し、幼児教育共通カリキュラムの推進、幼児教育の充実を目指す。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおり幼児教育研修を実施する。 研修会 年9回
	取 組 実 績	下記のとおり幼児教育研修を実施。 研修会 年9回
	取組の成果	経験や職層に応じて求められる組織マネジメント能力や保育・教育の実践力を高めることができた。
	取組の課題	区内の全ての幼児が質の高い就学前教育を受けることができるよう、私立園の研修参加者の増加を図る必要がある。
担当課評価	達成	計画に基づき、予定通り研修会を実施したため。

【教育支援館】

N0.	Ⅲ-11-(1)	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	学校教育相談講座(再掲)	
取組の概要	学校園における教育相談を充実するため、教員や保育士等を対象に基礎的な理論や実技等を学ぶ研修会を開催する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	学校教育相談講座を年6回実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり学校教育相談講座を実施。 実施回数 6回(延受講者人数 200名)
	取組の成果	コロナ禍により、参加人数や講義形式について制限をしながらの開催であったが、教育相談に関する基礎的な理論や実技等を伝達することができた。
	取組の課題	継続受講している方がステップアップできる内容等を検討する必要がある。
担当課評価	達成	予定どおりの回数を開催することができたため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(1)-⑬	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	⑬普通救命講習の受講推進	
取組の概要	幼児・児童・生徒の生命に危険が及んだ場合や、区民等が事件・事故に巻き込まれ、心肺蘇生やAED措置、止血等の応急手当が必要な場合に、応急処置ができるよう、教員が3年ごとに1回、夏季休業期間中に実施する普通救命講習を受講し、認定証を取得する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全教員の3分の1
	取 組 実 績	120名
	取組の成果	適切な心肺蘇生やAED措置、止血等の応急手当が必要な場合に、落ち着いて応急処置ができる内容を学ぶことができた。
	取組の課題	新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない年が続いたため、早急に目標達成ができるよう、計画を見直す。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない年が続き、目標達成できなかったため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(1)-⑭	
施 策	(1)教員・保育士の資質・能力の向上	
取 組 名	⑭台東区教育委員会優秀教員奨励	
取組の概要	本区において優れた教育活動を実践している教員及び教員の団体の功績をたたえ、表彰を行うことで、教員の意欲を高めるとともに、優秀教員による公開授業・協議会などを実施し、他の教員の指導力を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教員奨励 個人 5人 団体 2団体
	取 組 実 績	教員奨励 個人 4人 団体 1団体
	取組の成果	優秀教員を区の研修会等の講師などに招聘することで、他の教員の指導力向上を図ることにつながった。
	取組の課題	団体の目標が達成されるため、日頃から各校園の保育・指導を指導主事が参観し、価値づけていく。
担当課評価	未達成	目標に位置付けられた、目標を達成できなかったため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

NO.	Ⅲ-11-(2)-①	
施 策	(2)教員・保育士の支援体制の充実	
取 組 名	①教職員の校務パソコン整備	
取組の概要	区立小中学校の教職員用パソコン等を整備することにより、児童・生徒に関わる個人情報の保護及び校務事務の効率化を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	パソコン整備の継続
	取 組 実 績	パソコン整備の継続
	取 組 の 成 果	令和元年度に校務支援システムの再構築を行い、2年度には出退勤機能を追加する等、機微情報の安全確保と校務事務のさらなる効率化が図られた。ホームページシステム(CMS)も追加し、学校の情報発信力も強化した。
	取 組 の 課 題	文部科学省が次世代校務システムの方向性としてゼロトラスト構成に基づくクラウド環境への移行を示している。本区も技術動向や他自治体の整備方法等、十分に情報収集を行いながらこれへの対応を目指す。
担当課評価	達成	必要な整備を行い、情報セキュリティを確保するとともに教職員の校務効率化に繋がるパソコン等システム環境整備を実施した。

【庶務課、指導課】

NO.	Ⅲ-11-(2)-②	
施 策	(2)教員・保育士の支援体制の充実	
取 組 名	②授業資料データサービス	
取組の概要	研究授業や研究発表会の公開授業等の学習指導案をデータベース化し、教職員に配置されたパソコンから閲覧できるよう情報を共有する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	学習指導案のデータベースを構築する。
	取 組 実 績	下記のとおり学習指導案のデータベースを構築。 累計指導案数 873件
	取 組 の 成 果	データベースの構築・運用により、教員の授業改善に寄与した。
	取 組 の 課 題	引き続き、継続的かつ安定的に事業を実施する必要がある。
担当課評価	達成	学習指導案等のデータベースを充実し、情報共有の推進を図ったため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(2)-③	
施 策	(2)教員・保育士の支援体制の充実	
取 組 名	③初任者アドバイザーの学校訪問	
取組の概要	区立小中学校に採用になった初任者を対象に、教員経験者や指導主事が学校を訪問して、授業を観察し支援するとともに、メンタルヘルスカケアを行います。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	一人当たり3回以上
	取 組 実 績	一人当たり3回(教員経験者2回、指導主事1回)
	取 組 の 成 果	初任者に対して直接指導・助言を行うことで、学習指導や生活指導上の課題意識を共有することができた。
	取 組 の 課 題	初任者のメンタルヘルスカケアについては、様々な相談機関を紹介することで、本人に合った場を提供することが必要である。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた回数を実施したため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(2)-④	
施 策	(2)教員・保育士の支援体制の充実	
取 組 名	④幼稚園・こども園1・2・3年目教員アドバイザー派遣	
取組の概要	採用1～3年目の区立幼稚園・こども園の教員を対象に専門員が面談し、教育上の助言やメンタルヘルスカケアを行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教員アドバイザー派遣事業を実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり教員アドバイザー派遣事業を実施。 対象者：初任者教員 年3回程度 2・3年次教員 必要に応じて年1回程度実施
	取 組 の 成 果	対象者と面談し、心の健康の保持・増進に努めることにより、本人の抱える疑問や悩みに対して助言を行うことができた。
	取 組 の 課 題	引き続き継続的かつ安定的に事業を実施する必要がある。
担当課評価	達成	次代を担う若手教員の心の健康の保持・増進に寄与した。

【教育支援館】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(3)	
施 策	(3)働き方改革の推進	
取 組 名	学力向上推進ティーチャー(再掲)	
取組の概要	区立小中学校での主要教科の少人数指導やチームティーチング、学力向上を推進するため、講師を配置する。また、放課後等に児童・生徒の希望者へ学習指導を行い、学力向上を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	全校に講師を配置し、主要教科の少人数指導やチームティーチング、学力向上を推進するとともに、放課後等に希望者には補習を行うことができた。
	取 組 の 課 題	放課後補習の効果的な実施方法等については、さらに検討を重ねていく必要がある。
担当課評価	達成	全校に講師を配置しているため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(3)	
施 策	(3)働き方改革の推進	
取 組 名	教育活動アシスタント(再掲)	
取組の概要	教職員を志望する大学生などのボランティア指導者を区立小中学校に配置し、授業補助や個別指導などを行うことで、主体的に学ぶ機会を充実させ、学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な学力の向上や学習習慣の定着を図る。また、授業準備などの教育活動を補助し、教員の業務負担の軽減を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	児童生徒への個別対応を行うことにより、主体的に取り組む姿勢を育んでいる。
	取 組 の 課 題	事業や効果的な活用方法について、学校間での認識に差がある。
担当課評価	達成	全校に配置しているため。 効果的な活用については、今後も研究が必要である。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(3)-③	
施 策	(3)働き方改革の推進	
取 組 名	③学校園閉鎖期間の設定	
取組の概要	夏季の省エネルギーの取組及び学校における働き方改革の一環として、区内の学校(園)において一定期間の学校園の閉鎖を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	5日間
	取 組 実 績	5日間
	取組の成果	新型コロナウイルス感染症対応をはじめとする緊急時の連絡窓口を指導課に一本化したことで、閉鎖期間中であっても学校が対応すべき事項が生じなかった。
	取組の課題	特になし。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた日数を設定したため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(3)-④	
施 策	(3)働き方改革の推進	
取 組 名	④全庁による教員の働き方改革に対する協力体制の推進	
取組の概要	学校園へのちらし配布、作品募集の際には、区立小中学校及び幼稚園の負担軽減策の実施に関して、各課に対して協力・検討を依頼する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	推進
	取 組 実 績	推進
	取組の成果	ちらし等の配布については、学級ごとの人数に仕分けして送付することが徹底されている。
	取組の課題	区立施設からの毎月のお便りについては、カーボンハーフ推進の観点からも、ペーパーレス化等の検討が必要である。
担当課評価	達成	各課への依頼が徹底できているため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】  
 【施策方向1 1 教員・保育士の資質・能力の向上】

N0.	Ⅲ-11-(3)-⑤	
施 策	(3)働き方改革の推進	
取 組 名	⑤出退勤管理システムの導入	
取組の概要	教員の出退勤の状況を客観的に把握するため、出退勤システムを導入する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	令和3年度に全小中学校に導入済。
	取 組 の 課 題	
担当課評価	達成	目標どおり実施できたため。

【指導課】

N0.	Ⅲ-11-(3)-⑥	
施 策	(3)働き方改革の推進	
取 組 名	⑥スクール・サポート・スタッフの配置	
取組の概要	教員の負担を軽減し、児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を維持するため、授業準備等をサポートする人材を配置する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	小中学校25校にスクール・サポート・スタッフを配置し、36名を採用することができた。また、それにより教員の勤務時間の短縮を図ることができた。
	取 組 の 課 題	任用の枠に空きがある学校があるため、配置率を向上できるように、人材の提供や制度の活用を積極的に行う必要がある。
担当課評価	達成	目標どおり配置できたため。

【指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(1)-①	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	①小中学校の図書環境整備	
取組の概要	国語力の向上を図り、情操教育効果を高めるため、文部科学省設定の学校図書標準を踏まえ、区立小中学校図書館の蔵書を充実し、児童・生徒の読書活動を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	小中学校図書館の蔵書整備
	取 組 実 績	推進
	取 組 の 成 果	図書標準を維持することができた。
	取 組 の 課 題	全校において図書標準は達成しているが、古い図書の廃棄・更新を行っていくことにより、図書資料の充実をより推進していくことが必要である。
担当課評価	達成	図書標準を達成できているため。

【庶務課】

N0.	Ⅲ-12-(1)-②	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	②幼稚園・保育園・こども園の図書整備	
取組の概要	子供の発達段階に応じた教育・保育を着実に進めていくため、区立幼稚園・保育園・こども園の備えている絵本などを充実し、園児の読書活動を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	絵本などの配備
	取 組 実 績	推進
	取 組 の 成 果	各園の状況に応じて必要な図書を購入し、図書の充実を図ることができた。
	取 組 の 課 題	図書の破損状況や時代に合わせ、図書の更新を随時行っていくことが必要である。
担当課評価	達成	各園の状況に応じた必要な図書を購入できたため。

【庶務課、学務課、児童保育課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(1)-③	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	③保育施設の整備	
取組の概要	保育所待機児童の解消を図るため、「台東区次世代育成支援計画」に基づき、民間が運営する認可保育所などの保育施設を整備する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	認可保育所等の整備
	取 組 実 績	認可保育所3園整備
	取組の成果	認可保育所の整備により保育施設の充実を図ることで、待機児童数の減少に繋げることが出来た。
	取組の課題	就学前人口の減少や、保護者の保育ニーズの変化により、地域や施設の種別によって定員に対する空きが生じている。
担当課評価	達成	認可保育所の整備を実施したため。

【児童保育課】

N0.	Ⅲ-12-(1)-④	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	④少年自然の家管理運営	
取組の概要	区立小中学校の宿泊をとまなう学校行事で利用するほか、区内の社会教育団体や区民にも利用されている郊外施設である少年自然の家「霧ヶ峰学園」を良好に管理運営する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	15,000人(延人数)
	取 組 実 績	一般利用 1,212人(実数) 2,392人(延人数) 学校利用 2,569人(実数) 6,049人(延人数)
	取組の成果	コロナ禍による休館等の影響が少なくなり、昨年度および一昨年度に比べて多くの施設利用があった。
	取組の課題	学校利用期間を除き施設利用率が低いため、施設利用向上にむけたさらなる取り組みを検討していく必要がある。
担当課評価	未達成	利用人数は増加したものの、施設稼働率が低い水準にとどまっているため。

【学務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(1)-⑤	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	⑤私立の教育・保育施設振興	
取組の概要	私立の保育所・こども園及び地域型保育施設の運営に対し、区独自で児童処遇や施設振興に係る経費を支援することで、教育・保育施設の環境整備を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教育・保育施設の環境整備の充実を図る。
	取 組 実 績	教育・保育施設51か所に実施。
	取組の成果	区独自の運営支援を行うことで、教育・保育施設の環境整備の推進に寄与した。
	取組の課題	子ども・子育て支援法に基づき国が定める「公定価格」の単価は、毎年度改定されており、その動向を受けて、区独自の加算項目は適宜見直しを図る必要がある。
担当課評価	達成	教育・保育施設の環境整備の充実に寄与したため。

【学務課、児童保育課】

N0.	Ⅲ-12-(1)-⑥	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	⑥児童館管理運営	
取組の概要	児童に健全な遊びを与えることにより、健康を増進し、豊かな情操の育成を目指す。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	児童館管理運営 実施
	取 組 実 績	児童館数8館 利用者数 延222,650人 幼児・園児タイム 延19,665人 中高生タイム 延152人 ランドセル来館 延4,695人
	取組の成果	地域の児童を対象に、遊戯・読書・図工・音楽等の個別的・集団的な指導を行い、地域の児童の健全育成を図ることができた。また、全館でランドセル来館を実施し、放課後の居場所の選択肢の一つとなっている。
	取組の課題	中高生の居場所として2館で実施している中高生タイムの利用者数が減少している。
担当課評価	達成	0から18歳までの様々な子供たちが自由に来館でき、児童の日常生活面への支援や子育て家庭への支援などを行い、地域における児童の健全育成の場となっているため。

【児童保育課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向1 2 時代の変化に対応した環境整備の推進】

NO.	Ⅲ-12-(1)	
施 策	(1)教育・保育環境の充実	
取 組 名	花の心プロジェクト(再掲)	
取組の概要	学校園を中心とし、子供たちと地域と一緒に花を育てることで、子供たちに花の心を育む活動を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	子供たちが花を育てたり鑑賞したりすることにより、花を見て美しいと感じる心を育む。学校園の呼びかけで保護者や地域の方と協働して「花育」に取り組む。
	取 組 実 績	学校園にて、親子による栽培活動や、フラワーアレンジメントの取組を実施した。また、フラワーサポーターの登録数も増加し、学校園を中心に「花育」に取り組んだ。
	取組の成果	「自分の育てている植物に愛着をもつことで成長や変化に関心をもち、気付きや発見を楽しんだ」、「花の栽培を通して愛情をもつようになり、大切に育てようとする心が育まれた」等、花の心を育むことができた。
	取組の課題	地域に根差した事業となるよう引き続き工夫して取り組むとともに、私立の保育園・幼稚園ともこれまで以上に協働して取り組んでいく必要がある。
担当課評価	達成	学校園を中心に、子供たちが花を育てたり鑑賞したりすることで、花を見て美しいと感じる心を育むことができているため。

【庶務課、児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(2)-①		
施 策	(2)安全安心な施設・設備の充実		
取 組 名	①防犯ブザーの貸与		
取組の概要	台東区立小中学校に通学する児童・生徒全員に、携帯用の防犯ブザーを貸与し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図る。		
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	貸与	
	取 組 実 績	貸与	
	取組の成果	区立小中学校に通学する児童・生徒全員に携帯用の防犯ブザーを貸与し、児童・生徒の登下校時の安全の確保を寄与できた。	
	取組の課題	故障等に伴う取替については安全確保を図るため迅速な対応を努める。	
担当課評価	達成	新入学児童に貸与しているため。	

【庶務課】

N0.	Ⅲ-12-(2)-②		
施 策	(2)安全安心な施設・設備の充実		
取 組 名	②学校園の施設整備		
取組の概要	児童・生徒が安全かつ快適に過ごせる場として校舎・設備等の改善をはじめ、災害発生時の避難所機能の充実を図るため、老朽化対策としての大規模改修工事を計画的に実施する。		
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	各小中学校・園の施設整備を計画的に実施する。	
	取 組 実 績	金曾木小学校、田原小学校・田原幼稚園の大規模改修設計に着手、台東育英小学校及び育英幼稚園体育館棟改築工事、各学校・園舎等の空調設備更新工事、トイレ洋式化等の計画的な工事を実施。	
	取組の成果	大規模改修工事により、省エネや高効率型の機器を導入されて環境負荷の軽減やエレベーター設置等バリアフリー化が図られている。	
	取組の課題	給食室・調理室の冷房整備率を向上させる必要がある。	
担当課評価	達成	各小中学校・園の施設整備として、計画的な大規模改修工事等の推進が図られているため。	

【庶務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(2)-③	
施 策	(2)安全安心な施設・設備の充実	
取 組 名	③ランドセルカバーの支給	
取組の概要	区立小学校の新入学児童全員にランドセルカバーを支給し、交通安全教育の充実と児童の登下校時の安全を確保する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	新入学児童全員に支給。
	取 組 実 績	実施
	取組の成果	令和4年度は、より新入学時に馴染みやすいデザインに変更したランドセルカバーを支給することで、交通安全教育の充実及び児童の登下校時の安全を確保に資することができた。
	取組の課題	
担当課評価	達成	新入学児童全員にランドセルカバーを支給しているため。

【学務課】

N0.	Ⅲ-12-(2)	
施 策	(2)安全安心な施設・設備の充実	
取 組 名	学校安全ボランティア(再掲)	
取組の概要	各区立諸学校単位で、保護者と町会などの地域団体が協力してパトロールなどを行うことにより、登下校時の通学路における児童の安全を確保する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおり児童の安全確保のためのボランティアを確保する。 ボランティア登録者数 700人
	取 組 実 績	下記の通り児童の安全確保のためのボランティアを確保。 ボランティア登録者数 546人
	取組の成果	各区立小学校単位で、ボランティア登録者数が見守り活動に従事し、児童の安全を確保することができた。
	取組の課題	地域住民に向けて、取組み内容の周知方法を工夫する必要がある。
担当課評価	未達成	当初目標としていたボランティア登録者数を超えなかったため。

【庶務課、指導課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(2)-⑤	
施 策	(2)安全安心な施設・設備の充実	
取 組 名	⑤こども110番	
取組の概要	青少年の健全育成の基本となる安全対策について、PTAや関連団体などの協力により連携を図りながら緊急避難場所である「こども110番」を地域に設置し、通学路などにおける子どもたちの安全安心の向上を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	1,550軒(こども110番登録軒数)実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり実施。 1,134軒(令和5年3月31日時点)
	取 組 の 成 果	子どもたちの緊急避難場所を確保することで、子どもたちの安全安心の向上に資することができた。
	取 組 の 課 題	高齢や店舗の廃業等を理由とした辞退者が多い。また、流入人口もマンションなど、子どもが逃げ込むことが出来ない建物に集中しており、個人宅での新規協力者を得辛い。個人宅および事業所等に向けた協力依頼の周知方法等について検討する必要がある。
担当課評価	未達成	新規申込みによる登録軒数の増を、登録更新意向確認時の登録辞退による減が上回り、当初目標を達成できなかったため。

【学務課】

【施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する】

【施策方向12 時代の変化に対応した環境整備の推進】

N0.	Ⅲ-12-(3)-①	
施 策	(3)時代の変化に対応したICT教育環境の充実	
取 組 名	①学校の情報化・ICT教育環境の整備	
取組の概要	国のGIGAスクール構想に基づき1人1台端末や電子黒板、デジタル教科書等のICTを活用した教育環境を整備する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	推進
	取 組 実 績	推進
	取組の成果	1人1台タブレット端末の整備(10,780台) 電子黒板(511台)等の運用管理 学習用ライセンス管理(Microsoft365、デジタル教科書)
	取組の課題	タブレット端末の破損・故障については落下等による破損のほか、経年劣化に伴う故障も増えている。修理を依頼してから完了するまでも一定の期間を要するため、学びの機会が失われないよう、運用管理のさらなる効率化を図る必要がある。
担当課評価	達成	児童・生徒1人1台端末の整備など、国が進めるGIGAスクール構想実現に必要な環境整備を行った。

【庶務課、指導課】

N0.	Ⅲ-12-(3)-②	
施 策	(3)時代の変化に対応したICT教育環境の充実	
取 組 名	②学校教育情報室	
取組の概要	区立小中学校の教職員を対象に、教育関係の専門書、定期刊行物、研究紀要やDVD教材などの閲覧・貸出を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	教育関係資料の閲覧・貸出を推進する。
	取 組 実 績	下記のとおり教育関係資料の閲覧・貸出を推進。 来館者数 95人 視聴覚資料貸出数 28点
	取組の成果	最新の資料を配架することにより、教育関係者にとって必要な情報提供を行うことができた。
	取組の課題	来館者数を増やし、更なる活用を図る必要がある。
担当課評価	達成	常時に教育関係資料の閲覧・貸出を行っているため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

NO.	IV-13-(1)-①	
施策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取組名	①学校運営連絡協議会	
取組の概要	開かれた学校づくりを進めるため、学校運営について区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の校長と地域関係者、保護者が意見交換する場を設け、保護者や地域からの評価を基に、学校運営の改善・充実を図る。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	1校あたり年3回以上開催する。
	取組実績	全区立学校園で学校運営連絡協議会を1校あたり平均2.8回開催。
	取組の成果	学校運営連絡協議会を開催することで学校と地域が連携し、開かれた学校作りの一助となっている。
	取組の課題	全学校で学校運営連絡協議会を3回以上開催されるように支援していく必要がある。
担当課評価	未達成	目標としている年3回の開催回数を超えて協議会を開催している学校園がある一方、新型コロナウイルス感染症等の影響により、開催回数が目標の年3回に到達していない学校園があったため。

【庶務課、指導課】

NO.	IV-13-(1)-②	
施策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取組名	②学校公開の推進	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒や教育活動の様子について、保護者等に参観してもらうことにより、より一層開かれた学校づくりが推進されるよう、学校公開を積極的に実施する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	年3回以上
	取組実績	年3回以上
	取組の成果	土曜日に学校公開を実施する他、平日に学校公開週間を設ける等して、参観者が分散するよう工夫がされていた。中学校選択の一助にもなっている。
	取組の課題	働き方改革の観点から、振替休業日を伴う土曜日(または日曜日)の学校公開日の設定や、平日の公開日設定等を工夫していく必要がある。
担当課評価	達成	全小中学校において、目標回数を上回っているため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(1)-③	
施 策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取 組 名	③きょういく施策PR誌「台東まなびタイムズ大輪」の発行	
取組の概要	台東区教育委員会の施策を中心に学校教育や教育関係事業等を区民にわかりやすく紹介してゆく、教育委員会の広報誌として発行している。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	年2回発行 1800部/回 (併せて区ホームページ等電子版の配信)
	取 組 の 成 果	台東区教育委員会の学校教育や社会教育、生涯学習を含めた教育全般の具体的な取組を区民へ周知することができた。
	取 組 の 課 題	電子媒体の情報配信を含め、教育委員会の取組を広く周知できるように努める。
担当課評価	達成	年2回発行、配布・配信しているため。

【庶務課】

N0.	IV-13-(1)	
施 策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取 組 名	多様な主体の参画による学習の展開(再掲)	
取組の概要	教育的価値のある優れた知識や技術を有する地域の人材を、各区立学校園に参画させることにより、人と人との絆、地域と学校園との絆を深めるとともに充実した教育活動にする。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	外部人材の活用
	取 組 実 績	幼稚園や小学校低学年においては昔遊びなど、小中学校においては、総合的な学習の時間などのゲストティーチャーなどに地域の人材を活用し、取り組んでいる。
	取 組 の 成 果	地域の人材が、各区立学校園に参画することにより、学校園と地域の連携を深めることにつながっている。
	取 組 の 課 題	継続的かつ安定的に事業を継続する必要がある。一夫で、活動がマンネリ化しないように常に新しい人材確保も必要である。
担当課評価	達成	外部人材の活用によって、各区立学校園と地域が連携して学校教育を推進することにつながっているため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(1)-⑤	
施策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取組名	⑤学校図書館ボランティアの活用	
取組の概要	各学校の保護者や地域住民が区立小中学校図書館司書と連携し、読み聞かせ、図書の整理、学校図書館の整備、蔵書の点検、図書の準備など児童・生徒の読書活動を推進する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	全小中学校
	取組実績	半数程度の小中学校
	取組の成果	学校図書館の整備等が日常的になされることで、児童・生徒の図書館利用が促進され、読書への興味・関心が高まった。
	取組の課題	事業の見直しにより、ボランティア活動に対する謝礼を支払うことができなくなり、無償のボランティア活動になっている。そのことにより、取組を実施できていない学校がある。
担当課評価	未達成	無償のボランティア活動では実施が難しい学校があるため、予算措置が必要である。

【指導課】

N0.	IV-13-(1)	
施策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取組名	東京藝術大学の学生等による音楽、部活動等への指導(再掲)	
取組の概要	区立中学校生徒を対象に、東京藝術大学、同大学院の学生及び卒業生による中学校音楽科授業及び部活動における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	実施
	取組実績	実施
	取組の成果	演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高めることができた。
	取組の課題	学校のニーズに応じた本事業の推進が課題である。
担当課評価	達成	目標通り取り組んでいるため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

NO.	IV-13-(1)	
施 策	(1)地域社会に開かれた学校園づくりの推進	
取 組 名	上野学園大学の学生等による音楽、部活動等への指導(再掲)	
取 組 の 概 要	区立小中学校児童・生徒を対象に、上野学園大学の学生による音楽科授業及び課外活動等における指導を通して演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高める。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	演奏技術の向上及び音楽に対する興味・関心を高めることができた。
	取 組 の 課 題	学校のニーズに応じた本事業の推進が課題である。
担当課評価	達成	目標通り取り組んでいるため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(2)-①	
施 策	(2)創意工夫ある魅力ある教育活動の推進	
取 組 名	①台東区立中学校選択制度	
取組の概要	対象の児童及び保護者が進路について家庭で話し合い、自らが希望する学校を選択することによって、積極的に学習し伸び伸びとした学校生活を送れるようにする。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	学校公開の実施や中学校案内冊子の発行等を通して選択制度の周知徹底を図り、児童が希望する学校を選択できるようにする。
	取 組 実 績	区立中学校全7校で実施(広報や学校案内冊子、学校公開の充実等により児童及び保護者が適切に判断できるように情報を随時発信)。
	取組の成果	令和5年4月の学級編制においては、各区立中学校の生徒数の増減はあるものの、2学級から4学級の範囲で収まっていることから、安定的な制度運営が実施できている。
	取組の課題	SNSの活用(LINE・twitter)などによって、各学校の魅力の周知に取り組んでいるが、未だ各学校によって生徒数にばらつきがある。
担当課評価	達成	各学校によって生徒数のばらつきがあるものの、学級運営に支障なく安定的に運用されているため。

【学務課】

N0.	IV-13-(2)-②	
施 策	(2)創意工夫ある魅力ある教育活動の推進	
取 組 名	②魅力ある教育活動の推進	
取組の概要	地域の文化や地域住民との関わりを生かした教育、これからの時代に必要な能力を育てる教育、台東区における江戸の伝統文化を大切にする教育、花育に関する取り組みなど、学校園の創意工夫を生かした魅力ある教育活動の推進を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	魅力ある教育活動 実施 47校園
	取 組 実 績	魅力ある教育活動 実施 47校園
	取組の成果	学校園の創意工夫により魅力ある教育活動が充実してきており、健康で人間性豊かな園児・児童・生徒の育成に繋がっている。 また、本事業に対する園児・児童・生徒・保護者・地域の満足度は高く、魅力ある教育活動の推進が図られている。
	取組の課題	学校園の活動として継続的に実施してきた事業が多いが、学校園毎の特色をより鮮明に打ち出して発信力を高めていく必要がある。
担当課評価	達成	学校園の創意工夫を生かした魅力ある教育活動の推進が図られているため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向 1 3 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

NO.	IV-13-(3)-①	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	①家庭での読み聞かせ支援	
取組の概要	乳幼児のいる家庭向けに読み聞かせポイントやおすすめ本を掲載したリーフレットを配布するなど、家庭での読み聞かせを支援する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	リーフレットの配布を通じた読み聞かせ支援を実施。
	取 組 実 績	リーフレットはカウンターでの配付にとどまらず、イベント・おはなし会などの行事や、子育てに関わる施設でも配布を行った。
	取 組 の 成 果	家庭での読み聞かせ用の絵本の貸出を含め、区内図書館における児童書の貸出数が増加傾向にある。
	取 組 の 課 題	リーフレットは、6年度に増刷予定のため、新刊の状況や、利用状況なども考慮して、改訂内容の検討をする必要がある。
担当課評価	達成	さまざまな場所で配布することにより、読み聞かせについて周知することができた。

【中央図書館】

NO.	IV-13-(3)-②	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	②学校園からの家庭教育への支援	
取組の概要	家庭教育と学校教育の連携を図るとともに、保護者の子育てや進学指導に対する不安を解消し、家庭で心のゆとりをもった生活が送れるよう、必要な情報を提供する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	推進
	取 組 実 績	推進
	取 組 の 成 果	学校をとおして、保護者に適切に情報提供を行った。保護者の相談に対しては、適宜対応した。
	取 組 の 課 題	デジタルでの情報発信の推進も検討する必要がある。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた取組を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向1 3 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(3)	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	学習習慣定着に向けての啓発(再掲)	
取組の概要	区立小中学校の児童・生徒が主体的に復習や予習をする習慣を身に付けることができるよう、学校を通して積極的に各家庭への啓発を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校
	取 組 実 績	全小中学校
	取 組 の 成 果	保護者会等の機会において、家庭での学習習慣の確立について学校から情報発信した。
	取 組 の 課 題	保護者の協力を求められるよう、今後も情報発信に努める必要がある。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた取組を実施したため。

【指導課】

N0.	IV-13-(3)-⑤	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	⑤家庭教育学級	
取組の概要	子供の生きる力の基礎的な資質や能力を育成するため、より良い家庭教育が行われるよう、保護者に学習の機会を提供する。また、地域に対し、家庭教育の重要性を啓発し、家庭教育支援を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	家庭教育学級：43会場で実施
	取 組 実 績	家庭教育学級：40会場で実施
	取 組 の 成 果	コロナ禍のため、それぞれの学級がオンラインを活用するなど実施方法を工夫して開催、内容についても満足度が高かった。
	取 組 の 課 題	P T A家庭教育学級の運営については負担を感じている人もいるが、家庭教育学級の意義を伝えていくとともに、講師リストの充実や事務手続きの軽減を図り、安定した学級運営ができるよう支援していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかった会場があるため。

【生涯学習課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(3)-⑥	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	⑥小学校へのかけはし懇談会	
取組の概要	5歳児の保護者を対象として区立幼稚園・保育園・こども園及び希望する私立幼稚園・保育園・こども園に講師を派遣し、家庭の果たすべき役割や幼児期からのこころざし教育の大切さについての講演を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	区立園及び希望する私立園で講演を実施する。
	取 組 実 績	下記の区立園及び希望する私立園で講演を実施。 区立園 25園 私立園 24園 計 49園
	取組の成果	実施園が前年度比5園増加しており、家庭の果たすべき役割やこころざし教育の大切さについて、広く伝えることができた。
	取組の課題	事業の周知は区内全園に行っているが、私立の小規模園の講演申込みが少ない傾向にある。
担当課評価	達成	区立園は全園実施し、私立園については昨年度に比べ6園増えており、事業の目的を達成することができた。

【教育支援館】

N0.	IV-13-(3)-⑦	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	⑦「子供の読書活動」啓発講演会	
取組の概要	子供に読書の楽しみを伝え、自ら本に親しむ意欲を喚起するとともに、子供の読書に関わる大人への啓発のための講演会を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	講演会 年1回
	取 組 実 績	講演会 年1回 (子供向け講演会)
	取組の成果	講演会に科学の実験を取入れるなど、子供たちが普段は手に取らない本へ関心を引き付けるための工夫として参加型の講演会を実施した。
	取組の課題	講演の内容により興味の有無が左右されるため、読書活動につながるような演目とするように今後も情報収集を行い、内容を検討する必要がある。
担当課評価	達成	コロナ緩和後の事業実施であったが、予定通り事業実施ができたため。

【中央図書館】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(3)-⑧	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	⑧未就園児の会支援訪問	
取組の概要	区立幼稚園・こども園が主催する未就園児支援の会に専門員を派遣し、保護者の子育てを支援する助言や資料提供等を行う。	
4年度取組評価	目 標 (取組内容)	各園に専門員を年1回派遣する。
	取 組 実 績	下記のとおり専門員を年1回派遣。 園派遣回数 10回(10園)
	取組の成果	未就園児の保護者の不安や悩みの解消ができる場となっている。また、専門員が保護者に足して園の特色等を伝えることで、園での生活への期待感の醸成にも繋がっている。
	取組の課題	保護者が気楽に質問等できるような雰囲気づくりをさらに構築する必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルスの影響で派遣できなかった1園を除き、区立幼稚園・こども園11園のうち10園の未就園児の会に専門員を派遣したため。

【教育支援館】

N0.	IV-13-(3)-⑨	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	⑨合同子育て広場	
取組の概要	未就園の乳幼児とその保護者等に対して、保育園での活動や入園方法、その他保育や子育てに関する相談等を行い、子育てを支援する。	
4年度取組評価	目 標 (取組内容)	広場開催 3回
	取 組 実 績	広場開催 2回
	取組の成果	感染拡大防止の観点から、事前予約制の午前と午後の入れ替え制として実施する。第2回目は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、中止とした。予約は午前、午後の各組10組としたが、1回目は合計17組、3回目は合計16組であったが、そのうち、第3回目の午後の部は6組であった。参加保護者の育児相談等(子供の食事、育児、健康面、保育園での生活)に、保育士、栄養士、看護師が適切に相談に応じることができた。
	取組の課題	感染症に罹患し職員数が減ったり、要支援児が増えたりしている状況で、保育士、栄養士、看護師等の保育園職員が実施することは、通常業務に影響がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症拡大の中、中止とせざるを得ない等、厳しい取り組み環境となった。

【児童保育課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(3)-①	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	①あかちゃんえほんタイム(ブックスタート事業)	
取組の概要	読み聞かせや手遊びを交えながら、乳幼児向けの絵本の紹介や選び方、家庭での読み聞かせのアドバイスをを行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	あかちゃんえほんタイム 年39回
	取 組 実 績	あかちゃんえほんタイム 年27回
	取組の成果	上半期は新型コロナウイルス感染拡大防止により、行事が制限されていたこともあり目標回数に届かなかったが、参加を希望しない方にはパンフレット等の配付により読み聞かせのアドバイスを実施するなど工夫を行ったため、参加者数はコロナ以前に戻りつつある。
	取組の課題	今後、参加希望者が増えてきた場合、開催回数や実施方法を検討する必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、目標回数の実施ができなかったため。

【中央図書館】

N0.	IV-13-(3)	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	ノーテレビデーの呼びかけ(再掲)	
取組の概要	家庭においてお話や読み聞かせ等を通じた触れ合いの時間を過ごす環境づくりを推進するため、月に1日をノーテレビデーとして、テレビや家庭用ゲーム機、携帯型ゲーム機をつけずに過ごす日の大切さを呼びかける。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	月1回 実施
	取 組 実 績	月1回 実施
	取組の成果	家庭への協力によって児童・生徒の健全育成の一助となっている。
	取組の課題	児童・生徒の生活実態に合わせた指導の在り方について整理し、より具体的な指導となるよう見直しを図ることが大切である。
担当課評価	達成	児童・生徒への具体的な指導とともに、学校を通して保護者への啓発が図られているため。

【児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向13 保護者・地域とともにある学校園づくりの推進】

N0.	IV-13-(3)-⑭	
施 策	(3)学校園と家庭との連携	
取 組 名	⑭ふれあい給食の実施	
取 組 の 概 要	区立小中学校の児童・生徒の祖父母、就学予定の幼児、地域の方を招き、給食の会食を通して楽しく食べる等、食のコミュニケーションを図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	参加人数 1,960 人
	取 組 実 績	新型コロナウイルス感染症対策により中止
	取 組 の 成 果	
	取 組 の 課 題	
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策により中止したため。

【学務課、指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向1 4 学校園間の円滑な接続や連携の推進】

N0.	IV-14-(1)-①	
施 策	(1)幼稚園・保育園・こども園の連携の推進	
取 組 名	①「連携の日」を通じた相互理解の促進	
取組の概要	年2回の「連携の日」を設け、中学校区ごとの学校園（ファミリー）の教職員相互の意見を交換する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	2回以上
	取 組 実 績	2回
	取組の成果	意見交換だけではなく、保育（授業）参観を実施することで、各校種におけるスタートカリキュラムやアプローチカリキュラムについての理解がより一層深まっている。
	取組の課題	私立保育所等が年々増加しており、日程確保が課題である。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた回数を実施したため。

【指導課】

N0.	IV-14-(1)-②	
施 策	(1)幼稚園・保育園・こども園の連携の推進	
取 組 名	②幼児教育共通カリキュラムの推進	
取組の概要	「台東区幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽」に基づき、カリキュラムの実践を推進するため、新たな実践事例を検証する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	新たな実践事例の検証を年6事例実施する。
	取 組 実 績	新たな実践事例の検証を年7事例 (5歳児5事例及び新1学年の指導事例2事例)実施。
	取組の成果	「台東区幼児教育共通カリキュラム ちいさな芽」開発委員会において、接続期（5歳児及び新1学年）における実践事例の検証を行い、カリキュラムの充実を図ることができた。
	取組の課題	令和5年度は、カリキュラムの見直し・充実を図り、3年度以降のちいさな芽実践推進訪問及び開発委員会の成果物を発行する。
担当課評価	達成	新たな実践事例を計画通り検証し、幼児教育共通カリキュラムの充実・発展を図った。

【教育支援館】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向1 4 学校園間の円滑な接続や連携の推進】

N0.	IV-14-(1)-③	
施 策	(1)幼稚園・保育園・こども園の連携の推進	
取 組 名	③園と園の交流活動の促進	
取組の概要	園と園がこまめに連絡を取り合ったり、互いの指導計画や環境設定などを見合ったりすることを通じて、より質の高い保育を提供する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	交流活動の実施。
	取 組 実 績	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、直接訪問し合うという交流は減少したものの、園だよりの送付等、園の取組の様子を報告し合うなど、間接的な交流をすることで補い、連絡を取り合った。
	取組の成果	交流する中で、互いの保育方法、指導の仕方を学んだり、環境設定などを自園で取り入れた。
	取組の課題	感染症の拡大時期には、直接の交流が取り辛くなる中で、その他の手段で連絡を取り合うなど、交流活動を維持することは難しい。
担当課評価	達成	コロナ過ではあるものの、園と園との交流は実施され、良いところは自園に取り入れるなど質の向上につながった。

【学務課、児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向1 4 学校園間の円滑な接続や連携の推進】

N0.	IV-14-(2)	
施 策	(2)0歳から15歳までの一貫した教育の充実	
取 組 名	「連携の日」を通じた生活指導・学習習慣の定着(再掲)	
取組の概要	年2回の「連携の日」を設け、中学校区ごとの学校園(ファミリー)の教職員相互の意見を交換する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	各校園年2回以上
	取 組 実 績	全校園年2回実施
	取 組 の 成 果	授業や保育を公開し、相互に参観することを通して、幼児・児童・生徒の実態を理解するとともに、教員の交流を深めることができた。
	取 組 の 課 題	幼・保・小・中の接続を意識した取組の工夫や、協議内容について充実を図る必要がある。
担当課評価	達成	年2回の「連携の日」を実施したため。

【指導課】

N0.	IV-14-(2)-②	
施 策	(2)0歳から15歳までの一貫した教育の充実	
取 組 名	②幼児の小学校での給食体験・授業体験	
取組の概要	区立幼稚園・保育園・こども園において、幼児の発達段階に応じた区立小学校との連携を目的とした給食体験・授業体験を実施し、幼稚園・保育園・こども園と小学校の円滑な接続を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	新型コロナウイルス感染症対策により中止
	取 組 の 成 果	
	取 組 の 課 題	
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症対策により中止したため。

【学務課、児童保育課、指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向 1.4 学校園間の円滑な接続や連携の推進】

N0.	IV-14-(2)	
施 策	(2)0歳から15歳までの一貫した教育の充実	
取 組 名	生活指導・健全育成指導の充実(再掲)	
取組の概要	区立各幼稚園・こども園・小学校・中学校の生活指導上の課題を共有し、解決策を協議するとともに、学校園の生活指導・健全育成を担う生活指導主任等の資質の向上を図り、校内における生活指導・健全育成指導の充実を目指す。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	校種別研修会を実施 月1回
	取 組 実 績	校種別研修会を実施 月1回
	取 組 の 成 果	警察等の関係諸機関と連携し、情報共有することにより、全校園の生活指導・健全育成指導が充実している。
	取 組 の 課 題	学校園と専門家及び関係機関との連携をさらに充実させていくことが重要である。
担当課評価	達成	全ての研修を行うことができたため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向 1 4 学校園間の円滑な接続や連携の推進】

N0.	IV-14-(3)-②	
施 策	(3)社会教育施設との連携	
取 組 名	②まちかど図書館の運営	
取組の概要	地域の子供や近隣の住民が気軽に読書ができるよう、まちかど図書館を運営する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	まちかど図書館の運営
	取 組 実 績	定期的に専門員が書架整理を行い、資料を更新した。 現地にいるまちかど図書館委託職員と情報共有等を行い、資料選定や環境整備を行った。
	取組の成果	コロナ禍で減少していた来館者数や貸出冊数が回復した。
	取組の課題	限られたスペースを最大限活用するため、毎年書架資料の見直しを行う必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	まちかど図書館を運営し、来館者数や貸出冊数が増加したため。

【中央図書館】

N0.	III-14-(3)-③	
施 策	(3)社会教育施設との連携	
取 組 名	③団体貸出	
取組の概要	学校・幼稚園・保育園・児童館・こどもクラブなどに図書館が図書をまとめて一定期間貸出し、各施設の読書活動や調べ学習を支援する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	団体貸出の実施
	取 組 実 績	学校他施設へ団体貸出を行った。また、修学旅行や教科書の理科の授業単元等に合わせた図書の貸出の依頼があった際は、テーマに沿った本の選書も実施した。また、団体貸出登録更新する際、メールアドレスがある団体に対してはデータで送付するなどの利便性を図った。
	取組の成果	小学校を中心とした団体貸出やテーマに沿った継続した選書依頼が増加した。
	取組の課題	団体貸出登録の更新手続きや選書依頼は、メールでのやり取りに移行しつつあるが、依然としてFAX利用の団体も多い。利用団体に合わせた対応も行いながら、今後も迅速かつ効率的なメールの利用を推奨していく必要がある。
担当課評価	<b>達成</b>	団体貸出の登録団体数や貸出冊数が増加しているため。

【中央図書館】

【施策目標Ⅳ 接続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向14 学校園間の円滑な接続や連携の推進】

N0.	IV-14-(3)-④	
施 策	(3)社会教育施設との連携	
取 組 名	④清島温水プールの活用	
取組の概要	学校園に児童・生徒が水泳から体を動かすことの楽しさ等を学ぶ機会を確保するために、清島温水プールを活動の場として提供する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	清島温水プールを学校園に児童・生徒の活動の場として提供する。
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	コロナ禍であったため感染症対策を徹底し、児童・生徒の体を動かす機会を確保できた。
	取 組 の 課 題	限られた施設を有効に活用するため、個人利用の方にも配慮して運営を行う必要がある。
担当課評価	達成	清島温水プールを学校園に児童・生徒の活動の場として提供を行った。

【スポーツ振興課】

N0.	IV-14-(3)	
施 策	(3)社会教育施設との連携	
取 組 名	学びのキャンパスプランニング(再掲)	
取組の概要	区内の博物館・美術館などの文化施設や、台東区にゆかりのある企業・団体・学識経験者、江戸の伝統文化について講義する講師などと連携し、「台東区学校教育ビジョン」の実現に向けたプランを作成する。学校園では自校園に合ったプランを選択し、実施する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	プラン数 年130
	取 組 実 績	プラン数 年130 プラン実施数 年199
	取 組 の 成 果	台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、自ら行動できる『ひとづくり』を実現した。
	取 組 の 課 題	プラン内容を充実させるためには、新たな事業者との連携を模索するとともに、既存プランを見直す必要がある。
担当課評価	達成	オンラインを活用したプランの導入により、年間のプラン実施数がこれまで以上に増加したため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向 1 5 地域社会全体の教育力の向上】

N0.	IV-15-(1)	
施 策	(1) 学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進	
取 組 名	学校図書館ボランティアの活用(再掲)	
取組の概要	各学校の保護者や地域住民が区立小中学校図書館司書と連携し、読み聞かせ、図書の整理、学校図書館の整備、蔵書の点検、図書の準備など児童・生徒の読書活動を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	全小中学校
	取 組 実 績	半数程度の小中学校
	取 組 の 成 果	学校図書館の整備等が日常的になされることで、児童・生徒の図書館利用が促進され、読書への興味・関心が高まった。
	取 組 の 課 題	事業の見直しにより、ボランティア活動に対する謝礼を支払うことができなくなり、無償のボランティア活動になっている。そのことにより、取組を実施できていない学校がある。
担当課評価	未達成	無償のボランティア活動では実施が難しい学校があるため、予算措置が必要である。

【指導課】

N0.	IV-15-(1)	
施 策	(1) 学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進	
取 組 名	「子供の読書活動」啓発講演会(再掲)	
取組の概要	子供に読書の楽しさを伝え、自ら本に親しむ意欲を喚起するとともに、子供の読書に関わる大人への啓発のための講演会を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	講演会 年1回
	取 組 実 績	講演会 年1回 (子供向け講演会)
	取 組 の 成 果	講演会に科学の実験を取入れるなど、子供たちが普段は手に取らない本へ関心を引き付けるための工夫として参加型の講演会を実施した。
	取 組 の 課 題	講演の内容により興味の有無が左右されるため、読書活動につながるような演目とするように今後も情報収集を行い、内容を検討する必要がある。
担当課評価	達成	コロナ緩和後の事業実施であったが、予定通り事業実施ができたため。

【中央図書館】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
【施策方向 1 5 地域社会全体の教育力の向上】

N0.	IV-15-(1)-③	
施 策	(1) 学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進	
取 組 名	③ 図書ボランティアの養成と支援	
取組の概要	読み聞かせボランティアを養成するための講習会を開催するとともに、講習終了者が地域でボランティアとして活動できるよう、支援する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	ボランティア講習会 年8回
	取組実績	ボランティア講習会 年8回
	取組の成果	講習会受講者で構成するボランティア団体に、おはなし会で実践いただくなど協力を得ている。また、フォローアップ研修を実施し、読み聞かせスキル技術の維持を図った。
	取組の課題	講習会の開催時間によって、参加者数に差があるので、今後の開催時間を工夫する必要がある。
担当課評価	達成	目標通りに講習会が開催できたため。

【中央図書館】

N0.	IV-15-(1)	
施 策	(1) 学校園と家庭・地域が連携した教育活動の推進	
取 組 名	いきいき台東っ子応援団(再掲)	
取組の概要	保育園などの児童施設で、経験豊かなシニア世代が子供たちに伝統や芸能、遊びなど様々な体験の機会を提供することで子供の健やかな成長を図るとともに、地域のシニア世代と各施設の交流を促進する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	目標 参加者数 4年度7,000人 取組内容 児童館 年5人団員派遣×8施設(延40人) その他 年8人団員派遣×5施設(延40人) 年7人団員派遣×11施設(延77人) 計157人
	取組実績	参加者数2,181人(うち大人612人) 登録団員数24人 派遣回数52回(延76人)
	取組の成果	新型コロナウイルス感染症の影響により派遣回数が減少し、参加者数は目標に達しなかった。
	取組の課題	団員の高齢化や固定化による事業実施への影響や、児童の体験内容が固定化している課題がある。令和4年度は目標達成率が低かったが、新型コロナウイルス感染症のガイドラインに沿って、各団員の活動ペースに応じた範囲で事業を実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響前は実施率が高く、在園児だけでなく児童館等を利用する地域住民(未就園児親子)からも好評を博している。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をしながらの事業実施となるため、目標値(参加者数)については見直しが必要である。

【児童保育課】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】

【施策方向 15 地域社会全体の教育力の向上】

N0.	IV-15-(2)-①	
施 策	(2)共同社会の拠点としての学校園の活用	
取 組 名	①放課後子供教室運営	
取組の概要	全ての児童を対象に、小学校の特別教室や校庭、体育館等を活用し、学習や交流活動、スポーツ、文化活動等の多様な体験・活動の機会を提供することで、健全な育成を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	放課後子供教室運営 推進
	取 組 実 績	放課後子供教室延べ参加人数 112,624名
	取組の成果	コロナ禍においても放課後子供教室に対するニーズは高く、1校あたりの平均延べ参加人数が約12%増となり、放課後の安全・安心な居場所として、多くの児童に多様な体験・活動の機会を提供することができた。
	取組の課題	児童人口の増加によって各小学校内の空き教室数やスペースが減少する一方で、各放課後子供教室の参加人数は増加しているため、事業の運営又は新規実施に支障が生じている。
担当課評価	達成	前年度より参加人数が増加しているため。

【児童保育課】

N0.	IV-15-(2)-②	
施 策	(2)共同社会の拠点としての学校園の活用	
取 組 名	②学校開放	
取組の概要	区立小・中学校の施設(校庭、体育館等)を、学校教育に支障のない範囲で、スポーツ・学習活動等、社会教育その他公共のために開放する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	学校開放を実施(学校開放利用人数 20,500件)
	取 組 実 績	下記のとおり学校開放を実施。 学校開放利用人数 16,497件
	取組の成果	各小・中学校施設を開放することで、区民のスポーツ、文化活動の機会確保に貢献することができた。
	取組の課題	引き続き、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	未達成	各区立小中学校の施設開放により、社会教育団体等の活動における利便性が図られているが、目標の数値に届いていない。

【庶務課】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向15 地域社会全体の教育力の向上】

N0.	IV-15-(2)-③	
施 策	(2)共同社会の拠点としての学校園の活用	
取 組 名	③スポーツひろば	
取組の概要	身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、区立小中学校の校庭・体育館等を「スポーツひろば」として開放し、区民のスポーツ振興を図る。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	参加人数 10,000人
	取組実績	参加人数 6,223人
	取組の成果	新型コロナウイルスの影響により利用者数が目標を下回ったものの、利用者数は回復傾向にあり、前年度と比較し多くの方にスポーツに親しむ機会を提供することができた。
	取組の課題	指導員の確保及びコロナ禍において減少した参加者数を一人でも多く回復させることが課題となっている。
担当課評価	未達成	コロナ禍の対応として一部種目(会場)を休止したことにより、利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	IV-15-(2)	
施 策	(2)共同社会の拠点としての学校園の活用	
取 組 名	こどもクラブ運営(再掲)	
取組の概要	共働き家庭等の児童に対し、授業の終了後や長期休業中に適切な遊びや生活の場を提供することで、健全な育成を図る。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	こどもクラブ運営 実施
	取組実績	こどもクラブ施設数 公設民営23か所、民設民営1か所
	取組の成果	きめ細かな運営指導・助言、保護者アンケートなどを通して各クラブの状況にあったこどもクラブ運営を実施し、児童の基本的な生活習慣についての援助や自立に向けた手助け等を行うことで、対象児童の健全な育成を図ることができた。
	取組の課題	定員に余裕のあるこどもクラブもあるが、児童の通う小学校内または近隣のこどもクラブ以外は利用を希望しない傾向があるため、待機児童が発生している。こどもクラブの新規開設、需要のあるこどもクラブの定員増加を行ってきたが、待機児童解消に至っていない。
担当課評価	達成	各クラブの状況にあった運営を行い、児童に適切な遊び及び生活の場を提供している。また、早期の待機児童解消に向けた取り組みを推進しているため。

【児童保育課】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向16 自律的な学校園経営の推進】

N0.	IV-16-(1)-①	
施 策	(1)カリキュラム・マネジメントの確立	
取 組 名	①校園長研修会	
取組の概要	校園長のマネジメント能力等の資質向上を目指し、教育に関わる今日的課題をテーマとする研修会を実施します。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	3回
	取 組 実 績	3回
	取 組 の 成 果	大学教授等を招聘した講義形式中心の研修会を実施した。参加した校園長からは、学校園経営の参考になったとの声が多数挙がっている。
	取 組 の 課 題	参加者のニーズに寄り添うよう、取り上げる内容については今後も検討が必要である。
担当課評価	達成	目標に位置付けられた回数を実施したため。

【指導課】

N0.	IV-16-(1)-②	
施 策	(1)カリキュラム・マネジメントの確立	
取 組 名	②幼稚園長・保育園長研修会	
取組の概要	区立幼稚園・保育園・こども園の園長を対象に、組織の管理運営上の問題や最近の幼児教育・保育上の課題に対する解決能力の向上を目的とした研修を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	園長研修会を年1回実施する。
	取 組 実 績	下記のとおり園長研修会を実施。 年 1回
	取 組 の 成 果	さまざまな課題に対する解決能力の向上につながった。
	取 組 の 課 題	継続的かつ安定的に事業を実施していく必要がある。
担当課評価	達成	計画に基づいて、研修を行い、園長が直面するさまざまな課題に対する解決能力の向上に寄与したため。

【教育支援館】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向16 自律的な学校園経営の推進】

N0.	IV-16-(1)-③	
施 策	(1)カリキュラム・マネジメントの確立	
取 組 名	③出前教育委員会	
取組の概要	教育委員が区立学校園に出向き、運営状況等を的確に把握する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	実施
	取 組 実 績	実施
	取 組 の 成 果	区内中学校が合同で行う陸上競技大会を視察することで、生徒たちが主体的に取り組む態度や、日頃から培った練習成果を視察・確認することができた。
	取 組 の 課 題	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、視察できる機会が限られていた。区立学校園訪問が基本ではあるが、直接訪問が難しい場合でも運営状況を把握できるように工夫が必要である。
担当課評価	達成	達成している事業ではあるが課題もあるため、取組を継続しながら、課題解決を図りたい。

【庶務課】

N0.	IV-16-(1)	
施 策	(1)カリキュラム・マネジメントの確立	
取 組 名	指導課学校園訪問(再掲)	
取組の概要	学校園経営を充実させることを目的に、2年に1回、指導課が学校園を訪問の上、指導する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	幼稚園 5園、こども園 1園、小学校10校 中学校3校 において実施。
	取 組 実 績	幼稚園 5園、こども園 1園、小学校10校 中学校3校 において実施。
	取 組 の 成 果	校園長だけではなく、個々の教員に対して直接指導・助言を行うことで、教員の授業力向上につなげることができた。
	取 組 の 課 題	働き方改革の観点からも、より効率的な協議会等の運営について検討する必要がある。
担当課評価	達成	目標に位置付けている回数の訪問を達成し、指導・助言を実施したため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向16 自律的な学校園経営の推進】

N0.	IV-16-(1)	
施 策	(1)カリキュラム・マネジメントの確立	
取 組 名	ちいさな芽実践推進訪問(再掲)	
取組の概要	「台東区幼児教育カリキュラム ちいさな芽」に基づく保育・教育を推進するために、専門スタッフが学校・園を訪問して授業や保育観察を通じて指導・助言を行う。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	下記のとおり訪問を実施する。 保育園・ことぶきこども園・たいとうこども園 年1回 幼稚園・石浜橋場こども園・小学校 2年に1回
	取 組 実 績	下記の施設で訪問を実施。 全保育園・全こども園・5幼稚園・10小学校
	取 組 の 成 果	定期的な訪問における授業・保育観察と指導・助言により、幼児共通カリキュラムの推進につなげた。
	取 組 の 課 題	幼児共通カリキュラムについて、幼稚園・保育園・こども園と小学校では取り組み状況に差があるので、今後は小学校に向けて幼児共通カリキュラム活用を推進する必要がある。
担当課評価	達成	予定どおり施設を訪問し、適切に指導・助言を行うことができたため。

【教育支援館】

N0.	IV-16-(1)-⑥	
施 策	(1)カリキュラム・マネジメントの確立	
取 組 名	⑥学校園の検証改善サイクルの実施	
取組の概要	地域・家庭に対して、学校園の経営計画や評価結果をホームページ等で公開するとともに、改善策についても説明責任を果たすことで、明確なマネジメントサイクルを実施する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	充実
	取 組 実 績	充実
	取 組 の 成 果	学校園ホームページ上に経営計画、評価結果等を公開することにより、情報公開が進むとともに、学校園運営の充実が図られている。
	取 組 の 課 題	より積極的な情報発信の工夫が求められる。
担当課評価	達成	各学校園での取組が充実しているため。

【指導課】

N0.	IV-16-(2)-①	
施 策	(2)教育行政における学校園経営の支援	
取 組 名	①教科書採択	
取組の概要	教育委員会は、教科書採択年度に、区の実態に応じた適正な教科書を採択する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	採択年度の教科書を採択
	取 組 実 績	採択年度の教科書を採択
	取組の成果	調査研究等が充実し、本区の児童生徒の実態に応じた教科書の採択が実施されている。
	取組の課題	公正公平な教科書採択が求められる。教職員に対するサービスの厳正を徹底していく必要がある。
担当課評価	達成	目標どおり採択を実施しているため。

【指導課】

N0.	IV-16-(2)	
施 策	(2)教育行政における学校園経営の支援	
取 組 名	学びのキャンパスプランニング(再掲)	
取組の概要	区内の博物館・美術館などの文化施設や、台東区にゆかりのある企業・団体・学識経験者、江戸の伝統文化について講義する講師などと連携し、「台東区学校教育ビジョン」の実現に向けたプランを作成する。学校園では自校園に合ったプランを選択し、実施する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	プラン数 年130
	取 組 実 績	プラン数 年130 プラン実施数 年199
	取組の成果	台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、自ら行動できる『ひとづくり』を実現した。
	取組の課題	プラン内容を充実させるためには、新たな事業者との連携を模索するとともに、既存プランを見直す必要がある。
担当課評価	達成	オンラインを活用したプランの導入により、年間のプラン実施数がこれまで以上に増加したため。

【指導課】

【施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する】  
 【施策方向16 自律的な学校園経営の推進】

NO.	IV-16-(2)	
施策	(2)教育行政における学校園経営の支援	
取組名	魅力ある教育活動の推進(再掲)	
取組の概要	地域の文化や地域住民との関わりを生かした教育、これからの時代に必要な能力を育てる教育、台東区における江戸の伝統文化を大切にす る教育、花育に関する取り組みなど、学校園の創意工夫を生かした魅 力ある教育活動の推進を図る。	
4 年 度 取 組 評 価	目標 (取組内容)	魅力ある教育活動 実施 47校園
	取組実績	魅力ある教育活動 実施 47校園
	取組の成果	学校園の創意工夫により魅力ある教育活動が充実してきており、健康 で人間性豊かな園児・児童・生徒の育成に繋がっている。 また、本事業に対する園児・児童・生徒・保護者・地域の満足度は高 く、魅力ある教育活動の推進が図られている。
	取組の課題	学校園の活動として継続的に実施してきた事業が多いが、学校園毎の 特色をより鮮明に打ち出して発信力を高めていく必要がある。
担当課評価	達成	学校園の創意工夫を生かした魅力ある教育活動の推進 が図られているため。

【指導課】

NO.	IV-16-(2)	
施策	(2)教育行政における学校園経営の支援	
取組名	授業改善推進プランの活用(再掲)	
取組の概要	文部科学省の「学力・学習状況調査」、区の「総合学力調査」の結果 を基に、区立小中学校の児童・生徒の学習状況を把握・分析し、子供 の実態にあった効果的な授業のための改善を行う。授業改善推進プラン は、地域・家庭に向けてホームページ等で公開する。	
4 年 度 取 組 評 価	目標 (取組内容)	検証・改善 全小中学校
	取組実績	全小中学校で実施
	取組の成果	学力調査の結果を区のホームページに公表するとともに、各学校の授 業改善推進プランの内容を変更し、各校のホームページに掲載した。
	取組の課題	各校では、授業改善プランに沿って授業改善を行い、検証を行っている。 保護者や地域の方々にさらに周知していくことが課題である。
担当課評価	達成	全小中学校における授業改善推進プランを学力調査結 果に基づき改訂、公表しているため。

【指導課】

【台東区学校教育情報化推進計画】

基本方針(環境整備)		
方 針 名	①学校における安全・安心なICT環境の整備	
取組の概要	児童・生徒1人1台端末等の学習系ネットワークと、教員が成績処理等を行うための校務系ネットワークにおいて、安全かつ堅牢な運用に資する環境を整備する。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	情報セキュリティ対策の推進・充実
	取組実績	サーバや端末へのマルウェアの侵入や不正な通信からの防御を講じることでサイバー攻撃等の脅威から学校の情報資産を保全した。
	取組の成果	成績情報等機微な情報資産を安全に管理するとともに、児童・生徒をインターネット上の脅威から保護することで、安心して1人1台の端末が活用された。
	取組の課題	近年、多様化・複雑化している情報セキュリティの脅威から学校の情報資産を確実に保全するとともに、物理的・人的・技術的なセキュリティ対策によりインシデント(情報セキュリティ関連の事件・事故)の未然防止を図る必要がある。
担当課評価	達成	安全かつ堅牢なネットワーク環境を運用しており、情報セキュリティ対策が推進されているため。

【庶務課、指導課】

基本方針(活用推進)		
方 針 名	②教科等指導における情報化の推進	
取組の概要	各学校の「情報活用能力の育成に関する指導の年間指導計画」に基づき、各教科等の指導においてICT活用の推進を図る。	
4年度取組評価	目標 (取組内容)	1日2回以上ICT機器を活用している割合 令和4年度 50%
	取組実績	令和4年度 51.1%
	取組の成果	児童・生徒1人1台端末等ICT機器の効果的な活用により、情報教育の充実が図られている。
	取組の課題	学校間および学年・クラスにより活用格差が生じないよう、教員のICT機器活用の意識を向上させるとともに、教員に対するきめ細かな支援が必要である。
担当課評価	達成	令和4年度の目標値に達しており、各校のICT活用が計画的に推進されているため。

【庶務課、指導課】

基本方針(活用推進)		
方 針 名	③家庭学習等における情報化の推進	
取組の概要	児童・生徒1人1台端末を持ち帰り、家庭学習や教育相談等で活用する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	端末の毎授業日における持ち帰りの推進・充実
	取 組 実 績	すべての区立小中学校で端末の持ち帰りを実施した。
	取 組 の 成 果	感染症等の影響による臨時休業が生じて、オンライン等の活用により学びを止めない学校教育を確立している。
	取 組 の 課 題	端末の持ち帰りも含め、通学かばんの重量化により身体的な負担が生じているため、特に小学校低学年では慎重な運用が必要である。
担当課評価	<b>達成</b> 端末持ち帰りの実施により、家庭学習等における情報化が推進されているため。	

【庶務課、指導課】

基本方針(活用推進)		
方 針 名	④校務情報化の推進	
取組の概要	学校ホームページや学校園等情報配信システムを含めた校務系ネットワーク環境及び学習系ネットワーク環境の活用により、校務の情報化を推進する。	
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	活用事例の集積及び展開の推進・充実
	取 組 実 績	学校園等情報配信システムによる保護者への一斉連絡や、オンライン形式による校園長会・教員研修を実施した。
	取 組 の 成 果	学校園等情報配信システムを活用した、学校・保護者間における連絡の電子化や、オンライン形式の会議・研修により、教員の校務に係る負担を軽減している。
	取 組 の 課 題	学校だより等保護者へのお知らせを紙媒体で行っているものが多いため、さらなる効率化を図り、教員の働き方改革に取り組む必要がある。
担当課評価	<b>達成</b> 既存のネットワーク環境の活用により、校務の情報化が推進されているため。	

【庶務課、指導課】

基本方針(体制整備)		
方 針 名		⑤学校教育情報化に関する研究体制の確立
取組の概要		児童・生徒の情報活用能力の定着度を指標化して測定するための研究体制を確立する。
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	I C T活用効果の評価方法研究の推進・充実
	取 組 実 績	情報活用能力の評価システムを構築し、運用を開始した。
	取 組 の 成 果	児童・生徒の情報活用能力の評価システムへの取組から得られた評価指数(スコア)によって、情報活用能力向上の実態把握が可能となり、今後の情報化推進の研究に寄与している。
	取 組 の 課 題	担当職員の異動等により情報活用能力の評価システムの運用に影響が生じないよう、持続可能な体制を構築する必要がある。
担当課評価		達成 I C T活用効果の評価方法が構築され、研究が推進されているため。

【庶務課、指導課】

基本方針(体制整備)		
方 針 名		⑥学校教育情報化に関する研修体制の確立
取組の概要		中堅教諭等を対象とした教員研修や情報セキュリティに関する研修など、I C T活用を促進するための研修体制を確立する。
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	I C Tの効果的活用の促進に資する研修の推進・充実
	取 組 実 績	各校のI C T活用のリーダーを育成するための講座を実施するとともに、ソフトウェア提供事業者による基礎・応用の操作研修を実施した。
	取 組 の 成 果	I C Tリーダー育成講座の受講生が、講座で習得したI C T活用事例を他の教員にも展開することで、学校の情報化が推進されている。
	取 組 の 課 題	教職員の情報セキュリティ対策基準の策定ならびにセキュリティ対策の意識を醸成するための研修が必要である。
担当課評価		達成 I C Tの効果的活用の促進に資する研修が着実に実施されているため。

【庶務課、指導課】

基本方針(体制整備)		
方 針 名		⑦学校教育情報化に関する支援体制の確立
取組の概要		I C T支援員の配置や学校用ヘルプデスクの設置等により、情報化推進のための支援体制を確立する。
4 年 度 取 組 評 価	目 標 (取組内容)	支援体制の推進・充実
	取 組 実 績	I C T支援員の学校訪問回数を月4回から月6回へ拡充するとともに、学校用ヘルプデスクの人員を増強して、学校からの問い合わせ対応を強化した。
	取組の成果	I C T支援員の訪問回数拡充により、教員向けの研修及びI C Tを活用した授業を支援する機会が増加し、教員のI C T活用が促進されている。
	取組の課題	1人1台端末等I C T機器の不具合に対して、これまで以上に迅速な対応が必要である。
担当課評価		達成 支援体制の向上が着実に図られているため。

【庶務課、指導課】

## 6 学識経験者による意見

[学びのキャンパス台東アクションプラン]

【施策目標】Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する

尾木 和英（東京女子体育大学名誉教授）

### 【全般】

・評価基準にも検討を加え、目標達成かどうかの判定についてもよりの確にしようとしていて、この基本姿勢には意味がある。より適正な評価を可能にするからである。取組評価の記述の中に、事業ごとに取組の目標を明確にし、根拠に基づいて的確な成果と課題の把握に努めていることが読み取れる。点検評価の過程を通じて次年度の取組に対する見通しをつけ、台東区の実態に即して創意を生かして次年度の事業を展開しようとしている点を評価したい。

・目標未達成とされている事業に関しては、それぞれに理由がある。取組の内容、実施の方法、予期されない事態が生じた場合の対応も含め、未達成となった要因について十分に検討を加えることが必要である。

### 【個別事業について】

・「Ⅲ-9-(1)-①特別支援学級運営」に関しては、取組の成果として記されているように、個々に応じた指導が着実に実施されていることが把握できた。指導の充実のためには、学級運営が一つの重点になるので、今後についても、「個々に応じる」という視点を大事にして、保護者・本人の希望をよりの確に把握するよう留意し、一層の充実を図ることが大切である。

・「Ⅲ-9-(2)-②日本語指導講師派遣」に関しては、多様な児童・生徒に対して、一人一人を大切にするという意味を持っている。「Ⅲ-9-(2)-①指導課学校園訪問」による実態把握を生かし、外国人の子供や帰国児童・生徒がどのような課題を持っているかをきめ細かく把握し、実効ある実施に結び付ける工夫が必要であることを指摘しておきたい。

・「Ⅲ-9-(3)-②子供の生活習慣病予防対策」に関しては、生涯にわたる子供の健康に関する意識形成にもかかわるので、関係機関との情報交流、意見交換等も活かしながら、これまでの実施の内容を見直すことが重要になる。様々な困難があっても、評価は未達成となっているが、取り組みの内容について十分に見直しを行い、改善・充実に向けて努力を望みたい。

・「Ⅲ-11-(1)-②教育課題研究委員会」に関しては、最近の学校・教職員が様々な課題に直面するようになっているだけに、まず、教育課題の内容について多角的に検討を加え、事業展開の工夫に向けて、今後も創意を活かして事業内容の充実に取り組むことが重要である。

[学びのキャンパス台東アクションプラン]

【施策目標】Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

【全般】

・未知の社会を切り開く力を備え、持続可能な社会の担い手となる子供の育成。この基本的な理念を根底に置き、事業の推進に取り組む基本姿勢が把握できた。それぞれの施策の目標・重点を明確にした上で、確かな根拠に基づいて点検評価を行い、施策の一層の充実を目指そうとしている。事業展開に際して、地域との連携を重視している点もよい。

新たな社会的・経済的価値を生み出すこと、国際社会を牽引していくことのできる人材を視野に入れて、着実な事業展開を目指そうとする姿勢が把握できた。それぞれの事業がしっかりと目標をとらえてその趣旨を活かそうとしている。その基本姿勢を今後も大事にしていきたい。

・今後の教育活動を支えるのは、各学校園のカリキュラム・マネジメントである。そのことに関連する各事業が十分に目標を達成できている点は評価できる。昨年度は、様々な努力にもかかわらず、かなりの事業が新型コロナウイルスの影響を受け、結果的には目標の未達成という結果になった。今年度は、最小限度にとどめられたこともよかったと思う。

【個別事業について】

・「Ⅳ-13-(1)-①学校運営連絡協議会」に関しては、1校当たり3回開催を目標に掲げているが、これはぜひ実現してほしかった。地域社会に開かれた学校園づくりは、今後の重要な課題だからである。今後の学校園は、ますます多様な課題に直面することになる。この問題の解決のためには、地域と学校との連携が欠かせない。新型コロナウイルスの影響ということでやむを得なかったと思われるが、なお、実態の分析を行い、今後に関しては改善の余地がないかどうか見直しを加えることを望みたい。

・「Ⅳ-13-(1)-②学校公開の推進」に関しては、しっかりと目標を達成していることを評価したい。今後については、働き方改革との関連など難しい問題があるので、さらに工夫の在り方に検討を加えることを望みたい。

・「Ⅳ-13-(2)-②魅力ある教育活動の推進」については、各学校園の創意工夫を活かした取組のための努力を評価したい。今後については、取組の課題として記されているように、発信力を高めていくことが望まれる。

[台東区学校教育情報化推進計画]

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

【全般】

・「台東区学校教育情報化推進計画」に基づいて、着実に事業を展開し、確かな成果を収めていることが認められた。学校情報化に関しては様々な課題があるだけに、すべての事業において「達成」の評価が得られたことには大きな意味がある。

・学校情報化をめぐるのは、学習活動との関連における指導開発の問題、指導にどう活かすかということ、学校全体にわたる情報化、セキュリティの問題など、多くの問題がある。事業の展開において、それらの問題に目を配り、十分な成果を上げていることが確認できた。

【各基本方針について】

・「学校における安全・安心なICT環境の整備」に関しては、関連する取組内容が活動を支えるものであるだけに、対策が適正に推進されたことはよかった。今後についても、インシデントの未然防止に向けて、決して問題を発生させることのないよう留意しながら、効果的な事業展開を図ることが求められる。

・「教科等指導における情報化の推進」には重要な意義がある。実態として、各学校が様々な課題を抱えているからである。多くの先生方が、機器等を活用する授業展開には不慣れであり、それだけに先生方に対するきめ細かな支援が重要になる。状況に応じた適切な管理運営の検討が重要であると考えます。

・「学校教育情報化に関する研修体制の確立」に関しては、実質的な実施に係る問題は様々である。しかし、指導充実のためには研修の効果的な実施は欠かせない。その意義も多面的であると思われるが、実施については様々な困難が予測される。問題点を整理してとらえ、効果的な実施について検討されることを望みたい。

・「学校教育情報化に関する支援体制の確立」に関しては、支援員の拡充など実態に即して適切な対応がなされている。学校情報化については、今後についても、様々な問題に直面することが考えられるため、それだけに、実態に応じた十分な対策を講じるというこの視点は今後も大事にしてほしい。

[学びのキャンパス台東アクションプラン]

【施策目標】Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する

前田 烈（大智学園高等学校顧問）

【全般】

・「様々な状況にある家庭への支援を多面的・多角的に進めるための方策の充実を図っていく」、「子供や保護者の満足感・達成感を高めるための充実した教育環境の整備を推進し、多様なニーズを具現化する教育を展開していく」と記されている。具体的には「特別支援教育の推進」や「外国人の子供や帰国児童・生徒に対応した教育への支援」等の施策の事業において、教育委員会事務局の数多くの部や課、館が分担して一丸となって対応している。幅広く手厚い、賢明な行政対応を評価したい。

・「個人の性的志向や性自認に対する正しい理解と適切な配慮」の施策内容は、今日的重い課題であると思われ、個人的に今後よく考えてみたいと思っている。

【個別事業について】

・「Ⅲ-10-(1)家庭への支援」の事業の中で「Ⅲ-10-(1)-①一時保育」については、保護者の不規則な仕事のため、「Ⅲ-10-(1)-②病児・病後児保育」については、病時・病後時の児童の集団保育困難期に預かる事業であり、子育てと就労の両立を支援する事業である。現在、就労形態は多様化しており、家庭支援事業では極めて重要になっている。

・「Ⅲ-10-(2)の教育相談」については、臨床心理士が児童・生徒本人や保護者をカウンセリングする事業であり、「Ⅲ-10-(2)-②生活指導相談教室（あしたば学級）」については、欠席傾向にある児童・生徒を対象にした教職経験者や臨床心理者が、学校復帰に向けた支援する事業（あしたば学級）である。令和4年度に対応した児童・生徒数は25名であり、「あしたば学級」に安住、常態化させることなく、可能な限り在籍校に復帰させることを視野に置きたい。

・「Ⅲ-11-(2)-③初任者アドバイザーの学校訪問」については、区立小・中学校の初任者を対象に、「Ⅲ-11-(2)-④幼稚園・こども園1・2・3年目教員アドバイザー派遣」については、幼稚園・こども園の採用1～3年目の教員を対象としている。教員としての意識や心情を育てることは、なりたての時期が肝要である。教育技術は経験し、試行錯誤しながら高めることができる。回数は少なくとも、内容を濃くして質のいい事業にしてほしい。

[学びのキャンパス台東アクションプラン]

【施策目標】Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する

前田 烈（大智学園高等学校顧問）

【全般】

・学校園は基本的に、居住する当該地域の人々の子どもを教育する。直接的には公立・私立の学校園の区別なく、地域住民の子どもであるため、可能な限り壁を作らず対応した方がいいように思う。子どもたちは学校園の教育だけで育つわけではなく、家庭や地域社会が一体となって育てていくものである。そのため、施策方向である「保護者・地域とともにある学校・園づくりの推進」、「学校園間の円滑な連携の推進」、「地域社会全体の教育力向上」及び「自律的な学校園経営の推進」の項目は、的を得た内容となっている。

【個別事業について】

・「Ⅳ-13-(1)-①学校運営連絡協議会」は、学校と地域の代表者で構成される委員が学校の教育や経営について報告を受け、意見交換する会合であり、実質的な意見交換はどうか。学校の報告を聞いて了承するだけでは物足りず、形骸化を避けるためにも地域の方々に加え、学校教育に専門的な見識のある方に委員として入ってもらうことを考えてはどうか。

・「Ⅳ-13-(3)の学習習慣定着に向けての啓発」に関しては、小・中学生の学習意欲と学力は家庭の文化度と親の社会的境遇、経済力に影響されるという学者の調査研究がある。児童・生徒が主体的に復習や予習をする習慣を身につけさせるよう、啓発、奨励、助言するこの事業は大きな意義がある。効果が各学校で広がり定着することを願いたい。

・「Ⅳ-16-(1)-①校園長研修会」及び「Ⅳ-16-(1)-②幼稚園長・保育園長会研修会」に関しては、各学校園の教育の質がひとえに、園長・校長の人間性や見識、経営力によって成される。「取組の成果」で記されているように、「経営の参考になった」という参加者の多数の声があり、それを如実に示している。校園長への研修内容は、各学校園のトップへの対応であり、その成果は教職員に広がっていくのも期待できる。研修会のテーマ等については、担当課と校園長会とが連絡を取り合いながら決めると、効果的ではなからうか。

[台東区学校教育情報化推進計画]

前田 烈（大智学園高等学校顧問）

【全般】

・今日、学校におけるICT活用に関する教育は、欠くことのできない分野となり、極めて重要な教育の領域となっている。機器をはじめとする「環境の整備」や「教員の指導法等の研究・研修」等、学校や行政に対する社会からの期待は大きい。基本方針に掲げてある[環境整備]、[活用推進]、[体制整備]は、的を得た適切な視点であり、行政機関と学校、地域社会が一体となって対応することが肝要である。

【各基本方針について】

[環境整備]

〈学校における安全・安心なICT環境整備〉を掲げており、学校は個人情報等の山であることから極めて妥当、最大・不可欠な要点である。教職員の意識を高くしたい。

[活用推進]

ICTを活用しての指導については、今や全ての教員が備えていなければならない基礎基本的な能力といえる。学校内外での研究・研修が重要になる。〈教科等指導における情報化の推進〉では、計画目標値を上回る教員の使用頻度と記されており、心配ないと思われる。

[体制整備]

〈研究体制〉、〈研修体制〉、〈支援体制〉の3体制を備え、それが目標値を超える成果を生んでいる。関係された方々のご苦勞、努力の成果であり、称賛し、新たな前進を期待する。

[その他の事項]

AI使用上の課題については、近年問題にされ出した内容だが、区内の学校でも話題になっている。台東区教育委員会でも調査研究を行い、台東区教育委員会版「AI活用についての方針、指導事例」等を作って、学校に提供してはどうであろうか。

[学びのキャンパス台東アクションプラン]

【施策目標】Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する

有村 久春（東京聖栄大学教授）

【全般】

・「施策目標Ⅲ 多様なニーズを具現化する教育を展開する」の施策の充実は、台東区の子供個々や区民がよりよく生きていく基本的なエネルギーに資する。特に、子供のWell-beingの具現化そのものであるといえよう。この基本理念のもと、各担当課がきめ細かな事業推進に努めている。その成果が、事業数79のうち68の達成にみられる。

・その中核になる事業が、施策方向9「子供が豊かに学ぶ教育環境づくりの推進」である。この28の事業で26の達成である。国もインクルーシブ教育を進めるなか、日々の特別支援教育の展開において、多様性の尊重と充実がみられる。各学校の求めに応じた教育委員会の支援体制も安定している。

・世界遺産を有する国際都市の本区は、外国人の子供等への日本語等の指導が充実し、安心して台東区に居住できる学びの場を確保している。

【個別事業について】

・「Ⅲ-9-(1)-①特別支援学級運営」のあり様は、多様な個性と特性にある子供たちが主体的に学び、よりよく集団や社会をつくる基盤になる。この理解による取組実績（例：学びの備品や予算の対応）がみられる。この実績が「施策(1)特別支援教育の推進」の②～⑰の各事業展開を価値ある内容にしている。「Ⅲ-9-(1)-④巡回相談」だけが未達成であるが、コロナ事態にあってその35件の実績は評価できる。

・「Ⅲ-9-(1)-⑧特別支援教育支援員の配置」について、この取組が年間延配置日数（12,216人）の実績、また「Ⅲ-9-(1)-⑨就学前施設における特別支援教育の推進」でも、それを15,058人としている。合理的配慮を要する子供にとって意義ある人的措置である。この実績と他の取組との連関について、さらなる具体的なケース分析等による検証（費用対効果）を求めたい。

・「Ⅲ-11-(1)教員・保育士の資質・能力の向上」については、未達成が5/14である。コロナ対応に伴う事態に担当課の苦悩が伺える。どの取組も教員等の資質・能力向上に不可欠な事業であり、未達成の分析を的確に行い、より充実した実績を期待したい。特に「Ⅲ-11-(1)-⑬普通救命講習の受講推進」は、対象の全教員の受講を可能とする体制づくりを整備してほしい。

・「Ⅲ-11-(3)働き方改革の推進」については、6つの取組のうち2つが再掲であることから、その実績は子供の学力や生き方の保障と連動している。いうまでもないが、教員の本質的使命は子供個々の学びにこころ豊かに寄り添うことである。それを軽薄化する働き方改革は、教育の基本原則を脅かす。引いては教員個々の専門性の弱体化と職務の多忙さをかき立てる事態を招きかねない（例；いじめの増加や学力不足への苦情対応など）。

[学びのキャンパス台東アクションプラン]

【施策目標】Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する

有村 久春（東京聖栄大学教授）

【全般】

・「施策目標Ⅳ 持続可能な社会を創造する教育を展開する」の各事業は、台東区の地域性と文化・伝統を十分に活かすものである。未来社会の教育充実の方向性を有し、過去と未来との対話を新たに創出する事業展開が期待できる。その証が、48の取組のうち36を達成とする評価にみられる。未達成の事業は、コロナ事態ゆえ致し方ないであろう。達成している事業をどう持続・創造するのか、新たな模索を求めたい。

・各学校の社会に開かれた教育課程の実現は、台東区の人的・物的資本の豊かな成熟の度合いに比例する。その双方が互いの専門性を磨きつつ、その資産に学び合い、新たな資源を創る営みが求められる。この動きと異なり、相互のマイナス面を補填し合う連携に依存してしまうとその場しのぎの取組に終始してしまうため、自律的・発展的な事業推進は望めない。

【個別事業について】

・「Ⅳ-13-(1)-①学校運営連絡協議会」の取組は、学校・家庭・地域が各々の教育の特性と実際を信頼し合い、子供の成長を願いつつ自覚と責任ある活動を展開する場である。そこでは、地域の学校としての存在意義やお祭りなどの伝統行事を相互確認する営みがある。担当課は未達成としているが、これまでの実績にはコロナ事態時を払拭する取組がある。

各地域の学校への信頼と期待には、揺るがない地域のレガシーがある。近年にあって、地元愛が薄れつつあるとも聞く。PTA活動や地域行事に無関心な空気感があり、参加・協力しないケースもあるという。地域全体の教育力の維持・向上の面から、克服したい課題と受け止めたい。

・「Ⅳ-13-(2)創意工夫ある魅力ある教育活動の推進」については、「①台東区立中学校選択制度」と「②魅力ある教育活動の推進」の継続的・安定的な取組により、その確かな実績が確認できる。生徒の選択で生じる学級数の増減に応じ、教員の人事配置を適切に行うことを期待する。この実施は、各学校や地域の魅力ある教育活動に直結するであろう。本制度を効果的に活用していただきたい。

・Ⅳ-15-(2)-①放課後子供教室運営」の取組は、「②学校開放」とともに少子化時代を支援する共同社会実現に有益な事業である。安定的な予算措置や条件整備により、放課後の子供個々の生活が充実している。

・「Ⅳ-16-(1)カリキュラム・マネジメントの確立」の施策では、①～⑥の取組が有意義に展開されている。いずれにも取組に見合う実績と成果がみられる。この背景に各学校園の円滑な教育実践が伺える。これらを実践事例集等に集約して、新たなマネジメント確立に取り組みたい。

[台東区学校教育情報化推進計画]

有村 久春（東京聖栄大学教授）

【全般】

・ 令和4年3月に「台東区学校教育情報化推進計画」を策定している。これをもとに一人一人の子供が自らの<次代の学びの基盤>として、情報活用能力獲得の方針を7つ示している。その具体化の取組がみられる。

・ 各学校においては、子供自らが安心してICT機器に親しみ、積極的に活用し、自らが課題解決を図る学びの形成を図っている。この動きの背景には、ここ10年来の台東区のICT教育推進事業の積み重ねによるところが大きい（「台東区学校教育情報化推進計画」P4を参照）。

・ また、国のGIGAスクール構想の動きを受けて、子供個々及び教職員等のICT機器活用の加速化を展開している。その成果が、日々の教育活動の充実をはじめ子供の学びの機会と学び方を変貌させているといえよう。

（\*私自身も本推進計画策定に参画し、その推進状況に学ぶ機会を得た）

【各基本方針について】

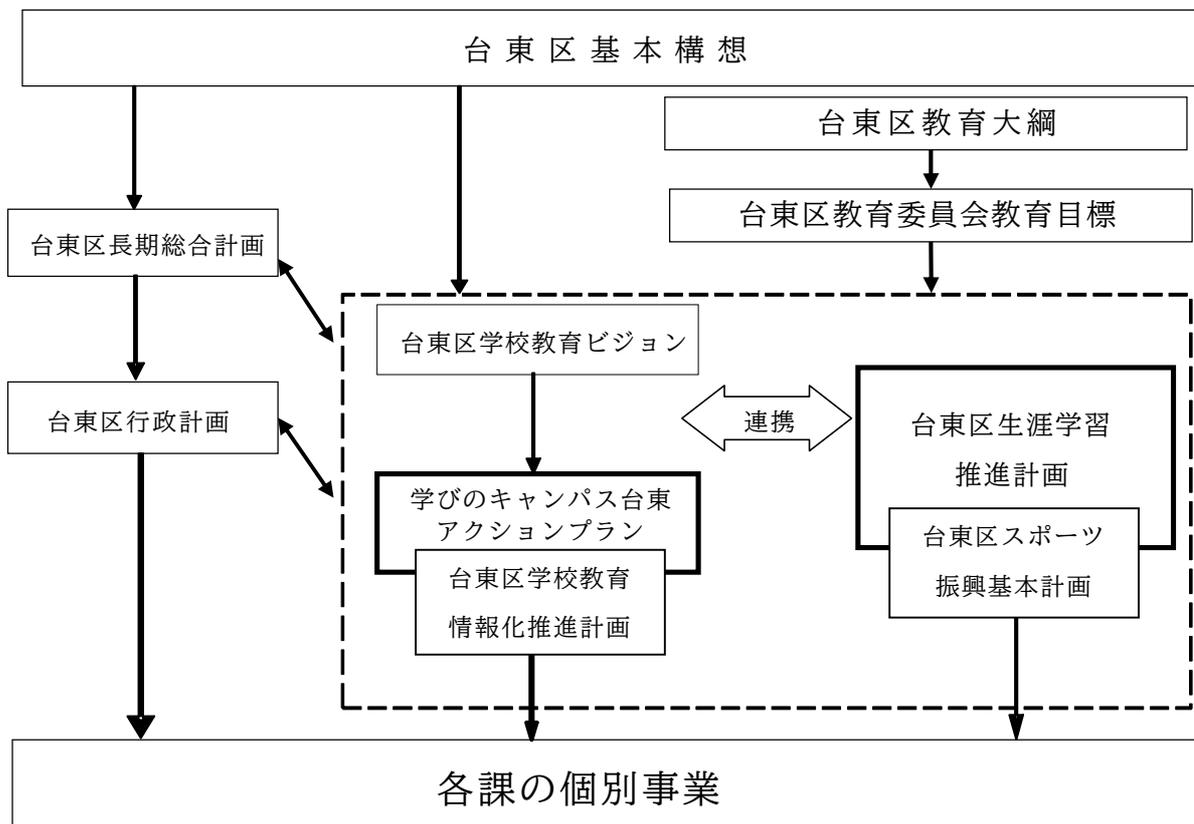
・ 方針①～⑦の全てにおいて、充実した達成度を示している。担当課の事業構想力とその推進意欲の成果であろう。「②教科等指導における情報化の推進」の実績が51.1%であるが、この数値以上に、子供個々や教職員への学びと活用の成果には大なるものがあると推測するところである。

・ 「④校務情報化の推進」について、情報配信システムによる保護者等への一斉連絡をはじめ、オンラインによる会議や研修会等の機会が増加する。これらの多くの機会にあって、教職員の専門性が高められることを期待したい。その推進構想の大半を各学校のアイデアと創意に委ねたい。

・ また、「⑦学校教育情報化に関する支援体制の確立」についても、ICT支援員の配置を行い、各学校の教育体制に応じた柔軟な支援の在り方に努めている。校内研究の一環として、支援員の活用を子供の学びに還元して学習効果を高めている場面に出会うことがある。これからは各学校のニーズや実態に応じて、その配置や活用方法等を見直す必要があろう。ICT機器の環境整備そのものが子供や教職員の学びと研究を促し、自己開発的な活用度を高める。その主導性と実際を教育委員会から、子供・教職員個々の学びにシフトチェンジすることを求めたい。情報とその活用を自己管理する方向である。

## 7 参考資料

### ○ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧



※ [ ] は「教育振興のための施策に関する基本的な計画」

「台東区学校教育ビジョン」、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「台東区生涯学習推進計画」、「台東区スポーツ振興基本計画」は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、台東区の「教育振興のための施策に関する基本的な計画」として位置づけられています。

## 台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとづくりを推進しています。

今後も、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

### ●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。

### ●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

### ●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

### ●心の豊かさと学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

### ●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

## 《教育目標》

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調として人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人

の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を図る。

そして、あらゆる世代が豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができる多様な機会を創出する。

## 《基本方針》

台東区教育委員会は、「教育目標」達成のため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 【基本方針1 人権尊重の精神の育成】

幼児・児童・生徒が人権尊重の精神にもとづき、生命を尊び、自他を尊重する心や社会の基本的ルールを身に付け、社会の形成者としてよりよく成長できるよう、家庭・学校(園)・地域社会・関係機関が、それぞれの役割と責任を果たし、緊密な連携のもとに人権教育を推進する。

### 【基本方針2 学校教育の充実】

未来を創造する幼児・児童・生徒が、たくましく生き抜くことができるよう、健康の増進と体力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成する。また、集団生活の中で、正義と責任、規律を重んじる態度や社会性を涵養するとともに、個性と創造力を伸ばすことを通して、「生きる力」の基礎を培う学校教育を充実する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な幼児教育及び学校教育において公教育とともに重要な役割を果たしている私立学校教育については、その振興に努める。

### 【基本方針3 生涯学習の推進】

区民が生きがいと地域社会に対する愛着をもって生活することのできる生涯学習社会を確立するため、歴史や文化芸術、スポーツ等、多様な学習や活動の機会の提供と質の充実に努める。また、関係団体の自主的な活動の場等の条件整備を一層図り、生涯学習を推進する。

### 【基本方針4 区民の教育参加の推進】

家庭・学校(園)・地域社会のすべてを人が生涯にわたって学ぶための環境とし、すべての区民が連携・協働して、共に育ちあう地域社会を形成できるよう、区民の教育参加を推進する。

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

報 告 書

令和5年9月発行

編集・発行 台東区教育委員会

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1402 / FAX 03-5246-1409

メールアドレス : ed-shomu.lqt@city.taito.tokyo.jp